

国語

東京書籍

教育出版

光村図書出版

種目（国語）

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	東京書籍（新編 新しい国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識及び技能の定着が図れるよう各領域で繰り返し扱い、必要に応じて教材を取り立てた構成にする等、工夫されている。 ・ 1 単元 1 領域を原則として指導項目を重点化し、それに即した具体的な言語活動を設け、課題解決的な活動を通して、思考力、判断力、表現力等が身に付くように工夫されている。 ・ 単元冒頭に「言葉の力」を示して何を学ぶのかという見通しをもたせ、単元末の「ふり返る」で学習の過程への評価を促すような文言を示し、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文章の長さ、分量、難易の程度については、児童の発達段階に応じて適切な内容や単元数・教材数になるように配慮されている。 (2) 教科等横断的な指導、家庭や地域との連携が図りやすい教材や、児童が興味・関心をもてる題材を取り上げ、学習への関心・意欲を高めていけるように工夫されている。 (3) 「見通す」「取り組む」「振り返る」という三段階の課題解決的な構成により、児童が学習の見通しをもち、単元で身に付けた力を確かめられるよう工夫されている。 (4) 本文には、文字の指導に適した教科書体を使用し、文字が小さい箇所には、ユニバーサルデザインフォントを使用するなど、学年発達に応じた配慮がされている。 (5) 1 年生で特殊音節の理解を助ける「多層指導モデルMIM」の指導法を取り入れたり、大切な情報が視覚的に捉えやすい図解、配色等の配慮がされたりしている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列が系統化されており、全学年にわたり段階的な指導ができるよう工夫されている。 (2) 巻頭の「言葉の力を集めよう」や巻末の「言葉の力のつながり」を通して領域ごとに学びのつながりを実感できるよう工夫されている。 (3) 「ポイント」で、「言葉の力」に関わる重要な視点や観点を示唆する問いを投げかけ、言葉による見方・考え方を働かせながら、言語活動に取り組めるよう配慮されている。 (4) 学習指導要領の「知識及び技能」に記された事項に重点を置き、指導事項を系統的・段階的に取り立て、「知識及び技能」に関わる学習内容を習得できるよう工夫されている。 (5) 内容理解を助けたりイメージを広げたりするさし絵、図表、写真、デジタル資料を随所に示すなど、学習展開に有効に活用できるよう配慮されている。 (6) 単元末の「ふり返る」に「言葉の力」を箇条書きと図解で簡潔に示し、視覚的に理解しやすい工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、6 年間を通して系統的に配列する工夫がされている。 ・ 学習展開の見通しをもてるような単元導入や、主体的に取り組めるような学習展開が工夫されている。

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	教育出版（ひろがる言葉 小学国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の冒頭に学習の目標を示したり、習得した学習内容を活用する教材を構成したり知識及び技能が定着するよう工夫されている。 ・ 日常生活に関連した題材や必要性を重視した教材を設定し、多様で活発な言語活動に取り組むことで思考力、判断力、表現力等が身に付くように工夫されている。 ・ 全学年にある「ひろがる言葉」では、他教科や実生活に生きてはたらく言葉の力を身に付け、自ら世界を広げようとする意欲を高める工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文章の長さ、分量、難易の程度については、児童の発達段階や指導時数に応じた配慮がされている。 (2) 教科等横断的な内容・構成に配慮して教材選定がされているとともに、多様で活発な言語活動、児童にとって必要感のある課題を取り入れ、意欲的に取り組めるよう工夫されている。 (3) 単元扉のめあてや「学習のてびき」において、自ら課題を見つけ、それを解決する学びの道筋を4ステップに分け、見通しをもちながら、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 (4) ユニバーサルデザインフォントを取り入れ、文字の大きさを効果的に変えて用いるなど、学年発達に応じた視覚的な配慮がされている。 (5) 領域をテーマカラーで分け、活動の手順や留意点を示す配色を取り入れるとともに、児童の思考力・想像力を支える図表や写真が適切に配置されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元構成が全学年系統化されており、段階的な指導ができるように配慮されている。 (2) 各領域間の関連を視野に、「習得」と「活用」を螺旋的・反復的に繰り返して、学びを積み重ねられるように、学年間と学年を通した系統的な単元構想に配慮されている。 (3) 主体的・対話的な学びの実現を促すために「学習のてびき」で見通しをもつことができるようにするとともに、複数の領域を関連させて効果的に学習を図る「関連単元」を設定している。 (4) 各教材での学習ポイントや解説などを、「ここが大事」で他の教材でも活用できる汎用性のある学習のポイントとしてまとめ、内容の理解と知識及び技能の定着を促すようにしている。 (5) 図表やメモ、対話モデルの吹き出し、デジタル教材など、考えの形成を助ける資料の他、手順や留意点を際立たせるデザインの工夫など、視覚的な配慮がされている。 (6) 単元ごとの「ふり返ろう」で、指導事項と言語活動の二つの観点で振り返られるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年の教科書を分冊にすることで、内容や付録を充実させるとともに、図書利用の仕方や紹介図書を多めにしている。 ・ 教科等横断的な学びを視野に、「ひろがる言葉」において領域ごとに単元と関連のあるSDGsのアイコンを載せている。

種目（国語）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">光村図書出版（国語）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元、教材のねらいを明確にし、習得と活用を繰り返しながら知識及び技能が身に付けられるよう工夫されている。 ・ 単元を通して身に付けたい力を「たいせつ」、他教科や日常生活で生かす力を「いかそう」としてまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くように工夫されている。 ・ 「問いをもとう」を単元の初めに設定したり、自分の願いを書き込めるスペースを設けたりし、児童が自らの問いや願いをもって主体的に学びに向かえるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文章の長さ、分量、難易の程度が、児童の発達段階に応じて考慮され、無理なく学習が進められるよう配慮されている。 (2) 日常生活に関連したり、教科等横断的に資質・能力を伸ばしたりできるような話題・教材を選定し、児童の学習に対する意欲が高まるよう工夫されている。 (3) 「見通しをもとう」を設定し、学習の道筋を示すことで、児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。 (4) 低学年では通常よりも太い文字にしたり、文字が小さい箇所などには、ユニバーサルデザインフォントを使用したりし、学年の発達に応じた配慮がされている。 (5) 教材の内容理解を助けるために、各領域ごとに見出しが色分けされていたり、児童がイメージを広げられるような絵や写真、グラフが適切に配置されたりするなど工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列の系統化がなされており、全学年にわたり段階的な指導ができるよう工夫されている。 (2) 「国語の学びを見わたそう」に、前学年で学んだ既習事項の要点が示され、当該学年とのつながりや領域内の関連を確かめられるよう工夫されている。 (3) 三つの領域を関わらせた言語活動が、各学年で設定されており、単元末の「ひろげよう」により、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるよう配慮されている。 (4) 各単元の「ふりかえろう」で知識及び技能の振り返りを位置付けたり、学習活動に結び付く言葉を示したりすることで、知識及び技能が全学年系統的に各領域と関連付くよう工夫されている。 (5) 学習内容の理解を助け、児童のイメージを豊かに広げる挿絵や写真、デジタル教材を適所に掲載することで、学習展開に有効に活用できるよう配慮されている。 (6) 三つの観点に則した「ふりかえろう」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう、工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元に「問いをもとう・目標」が設けられており、児童が全体的に見通しをもって学べるよう工夫されている。 ・ 単元で付ける力や生活に生かす力を「たいせつ」「いかそう」にまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。

書 写

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書 出 版

種目（書写）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい書写）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を整えて書くための知識及び技能に加え、伝統や文化について幅広い教養を身に付ける工夫がされている。 ・ 全学年で「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。 ・ 各単元の学習のねらいや身に付ける知識及び技能、学び方を明確にし、自己評価しながら児童が主体的に学ぶ配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の指導事項に適した簡明な字形・書き方・筆使いの語彙を、系統的・段階的に配置するよう配慮されている。 (2) 普段の手書き文字から課題を見つけて解決を目指したり、横書きの単元を設けたりして、文字や書くことへの興味・関心を高め、日常生活や他教科の学習に生かせるよう配慮されている。 (3) 単元の導入に、「見つけよう」として、「くらべよう」「さがそう」という言葉が添えられた教材や、それをもとにした対話を促すアイコンが示され、児童が課題に気付くための工夫がされている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童も見やすい教科書紙面の構成や、独自の教科書体を用いながら、すべての児童に配慮されたフォント・色使いなどを工夫している。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の指導事項に適した字形をもつ文字や語彙を選びながら単元が配列されるよう工夫されている。 (2) 系統的に整理した学習事項のポイントを「書写のかぎ」として示し、発達段階に応じた端的な説明の示し方をするとともに、一覧表で学びのつながりを確認できるよう配慮されている。 (3) 日常生活から課題を見付ける資料を示したり、学習を生かす段階で観察日記や絵日記など他教科や日常生活と連動させた言語活動を取り上げたりして、児童の主体的な学びに配慮している。 (4) 学年段階に応じたデザインに配慮し、課題解決のポイントとなる知識及び技能の説明において、筆使いをさし絵や図、音で示すなど工夫されている。 (5) 「書写のかぎ」として学習要素を系統的に分類・整理し、各単元に課題を解決する手段として示すことで、まとめや評価の観点が明確になるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の手書き文字（硬筆）から課題を発見し、硬筆・毛筆の基本的な知識及び技能から解決方法を見出し、その成果を硬筆に生かす学習過程を、同一の紙面構成で示す工夫がされている。 ・ 書写の学習要素を、既習事項も含めてインデックスとして示すことで、常に系統性が意識できるよう工夫されている。

種目（書写）

発行者名 採択基準	教育出版（小学 書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年の発達に合わせた教材が系統的に配列され、日常生活の中で、身に付けた知識及び技能が生かされるよう工夫されている。 ・ 全学年で「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。 ・ 学習の進め方や自己評価をする欄、書き込みができる欄などがあり、見通しをもって主体的に取り組めるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年の発達段階や学習時期に応じて平仮名、片仮名、漢字が配列されており、系統的・段階的に学べるよう配慮されている。 (2) 習得した書写の力を、他教科や日常生活に活用できるよう関連を図り、文字や言葉、書くことに対する興味・関心が高まるように配慮されている。 (3) 「考えよう」の欄に、「どちらがうかな。」「～どうなっているかな。」などの問いかけがあり、児童が自ら考え、必要な技能に気付けるよう配慮されている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童用の資料の提示やフォント・色使い等への配慮がされていることで、すべての児童にとっての学びやすさにつながる工夫をしている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年に応じて、書きやすい点画や文字の大きさなど、平易なものから発展的に学習できるよう配列が工夫されている。 (2) 低学年では姿勢、執筆、筆使い、高学年では字形などを中心に、段階的に繰り返し配列され、「はってん」のページで先の学年の学習に触れられるなど、学年間の関連が配慮されている。 (3) 「レッツ・トライ」で、他教科や日常生活と関わる書く活動が紹介されており、児童が主体的に書写学習を活用できるよう配慮されている。 (4) 写真や図版が多く活用されており、筆使いがよく分かるよう、書いているときの筆の状態や穂先の位置などが大きく示されていて、運筆の指導に生かせるよう工夫されている。 (5) 単元のページごと、右上に「めあて」、左下に「ふりかえろう」が書かれており、その単元で身に付けたいことが明確になるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 字を書いている途中の筆の状態が実物の写真で示されているなど、写真や図版を多く活用し、詳しい説明を加えることで、身に付ける知識及び技能が明確になるよう配慮されている。 ・ 練習用紙を選択したり、作ったりすることが示されるなど、課題解決のために必要な方法を児童が考えられるよう配慮されている。

種目（書写）

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	光村図書出版（書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本を明確に示すことで、文字の書き方だけでなく知識及び技能を確実に習得できるように工夫されている。 ・ 全学年で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。 ・ 身の回りの文字文化や言葉に触れられる資料があり、書写学習で身に付けた力を主体的に活用できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文字の構成や点画の書き方を焦点的に示した教材を、系統的・段階的に配置するように配慮されている。 (2) 「ことば」として既習事項を活かして書いたり、新聞やノートの書き方などを示したりし、言葉に対する興味・関心を高め、他教科や日常の言語活動に生かせるよう配慮されている。 (3) 「なぞとき」「こんなことはないかな」の2つの例を示し違いに気付かせたり、どちらの書き方がよいか考えたりし、児童が気付きをもち技能を身に付けられるよう配慮されている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、フォント・色使いに配慮するとともに、左利き児童用の教科書紙面や動画が必要だと考える場所に、二次元コードを用意している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じて習得と活用を繰り返しながら書写の基本的な力が培えるように、単元の配列が工夫されている。 (2) 1教材1目標とし、身に付ける力を教材名にして分かりやすくしたり、「学年別漢字配当表」に準拠した、部分の形の統一が図られた学びやすい文字を使ったりする工夫がされている。 (3) 文字の大きさや配列など書写で学んだ技能を、他教科や日常生活に生かしたり、国語の教科書と連動した教材を一体的に扱ったりし、学習活動に主体性が生まれる工夫がされている。 (4) 筆使いを言葉や図で示したり、動物キャラクターの動きや、「すうっ」「ぴたっ」などの言葉を唱えて書くことでポイントが押さえられたりするなどの工夫がされている。 (5) 各単元に「ねらい」「たいせつ」、巻末には「たいせつのまとめ」を設け、各学年で学ぶ要点を振り返ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語の教科書と連動した教材が全学年に設定され、国語と一体的に扱うことによって、学習活動に必然性が生まれる工夫がされている。 ・ 全学年「ことば」の教材で、日常の言葉や物語・詩や俳句など書きうつし、言葉の美しさを味わえるよう配慮されている。

社 会

東 京 書 籍

教 育 出 版

日 本 文 教 出 版

種目（社会）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい社会）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会事象を様々な資料と人々の思いや願いにふれながら理解し、「ことば」を使ってまとめられるよう配慮されている。 ・ 様々な社会的な見方・考え方を働かせて、多角的に追究できるよう学習場面や展開が配慮され、まとめ方の例示も工夫されている。 ・ 発展的な学習内容や社会とのつながりを重視し、主体的に社会に関わろうとする資質を養えるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 身近な社会事象から学習がスタートできるように配慮され、発達段階に合わせた学びのポイントで学習活動が例示されている。 (2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の四つの学習段階が示され、特に「いかす」の場面では、発展的な学習や社会参画の例が提示され、学びの深まりにつながるよう工夫されている。 (3) 自分の言葉や「ことば」でまとめる学習とこれまで学習した内容をもとに話し合う活動が例示され、言語活動の充実と共に、児童が主体的・対話的に学習できるように工夫がされている。 (4) 調査・見学の学習計画を立てる場面では、学習問題に対する予想の提示や「調べること」「調べ方」「まとめ方」の提示など、社会的な見方・考え方を働かせながら学べるよう工夫されている。 (5) 二次元コードや「まなびのポイント」が、どのページも同じ場所に同じ色で配置され、児童が使いやすいよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 身近な事象から問題解決的な学習になるよう単元が配置され、学習内容の増える5・6年生を2冊に分け、歴史を分断せずに、1冊で学習を進められるよう工夫されている。 (2) 「単元のめあて」「小単元の学習問題」「本時のめあて」が明示され、問題解決的に学習を進めることで、単元と単元がつながるように工夫されている。 (3) 社会的な見方・考え方として4種類のイラストを設定し、各ページに配置することで、着目する視点を明らかにし、多角的な追究につながるよう配慮されている。 (4) 「いかす」の場面ではメディアリテラシーやこれからの工業発展、「ひろげる」の場面では情報を生かした新しい産業や子ども市会などを扱い、社会参画につながる資質への配慮がなされている。 (5) 3・4年生では、地図帳を使った距離の測り方や地名の探し方などの学び方が具体的に示され、地理的・空間的な広がりを目を向けた学習につながるよう工夫されている。 (6) 白地図・ノート・ポスター・新聞など、発達段階に合わせた多様なまとめをすることで、知識及び技能、表現力などが育てられるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な事象から課題解決的に学習展開することで、発展的な学習や社会参画につながるよう工夫されている。 ・ 様々な社会的な見方・考え方を働かせ、発達段階に合った表現活動ができるように、まとめ方が工夫されている。

種目（社会）

発行者名 採択基準	教育出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学びのてびき」を提示し、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ 社会に参画する多様な人々の思いや願いを例示し、社会への関わり方について考え、判断・表現する力を養えるよう配慮されている。 ・ 「この時間の問い」「みんなで作った学習問題」の項目が位置付けられ、問題解決を図る態度を養えるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 前学年の学習を振り返る内容が位置付けられ、児童が発達段階に合わせて学習を進めていけるよう配慮されている。 (2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」の三つの学習段階が提示され、「まとめる」ではその具体的な方法についてイラストで例示することで、児童の深い学びにつながるよう工夫されている。 (3) 情報端末を用いた学習活動の具体例が示されていることで、児童がICTを有効に活用し、主体的・対話的に学習を進められるよう工夫されている。 (4) 「社会的な見方・考え方」をイラストと言葉で例示し、児童がそれを意識して観察や調査・見学などの体験活動やそれに基づく表現活動を進められるよう工夫されている。 (5) 6年「日本の歴史」において、写真資料に人工着色を加えることで、児童にとって興味をもちやすい配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に考慮した単元構成がなされており、社会科への関心や期待を高めながら学習指導を進められるよう配慮がされている。 (2) 学習問題の設定について、「みんなで作った学習問題」と枠で強調して記載され、児童が問いをもって探究的に学習を進めていけるよう配慮されている。 (3) 探究的な学習のサイクルについて、円循環図で提示することで、児童が問いを連続的に生みだしながら追究していけるよう配慮がなされている。 (4) 「もっと知りたい」「つなげる」の項目を位置付けることで、児童が社会に見られる課題について主体的に考えながら学習が展開できるよう配慮されている。 (5) 単元導入時の見開きページ一面に描かれたイラストによって、児童の多様な気づきを促したり、比較・関連付ける学習指導の展開に生かせたりするように工夫されている。 (6) 「まとめる」場面では、「ガイドマップ」、「ポスター」等の表現（アウトプット）活動が重視されており、習得した知識を定着させ、思考力、判断力、表現力等を育てるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「児童がどのように学ぶのか」の視点を重視し、問題解決的な学習を通して学習の充実が図られるよう工夫されている。 ・ 対話的な学びを通して、社会づくりに参画・貢献しようとする意欲と態度を育てられるよう工夫されている。

種目（社会）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">日本文教出版（小学社会）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査活動を通して情報を適切に調べ、まとめる技能が身に付けられるように調べ方を具体的に示すなど配慮されている。 ・ 時間・空間・関係の三つの視点と方法を提示し、社会的事象について多角的に思考・判断ができるように工夫されている。 ・ 身の回りの社会的事象から始まり、日本や世界で見られる諸課題を児童が主体的に考えることができるように単元を構成している。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じた児童の生活・学習体験をもとに、学習問題を追究できるように内容の選定や単元の配列が配慮されている。 (2) さし絵・写真等の資料を多数掲載し、児童の興味を喚起するとともに、キャラクターの疑問や気付きを示すことで、問いが生まれ、学習の深まりを導く単元展開の工夫がされている。 (3) 児童の日常生活と関連のある具体的な資料を、単元の導入に提示することにより、児童が生活をもとにした疑問や問題を持ち、主体的・対話的に学習できるように工夫されている。 (4) 「学び方・調べ方コーナー」で、資料の読み取り方やまとめ方を例示することで、発達段階に応じた見学・観察・調査・表現活動ができるように配慮されている。 (5) 資料と本文の割付を統一するとともに、本文の文字間を十分にとったり、字体を変えたりするなどの配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって身近な学習内容を選定し、発達段階と内容の系統性を踏まえた単元配列にすることによって、基礎的・基本的な内容が身に付き、実生活への活用ができるように工夫されている。 (2) 児童の疑問が各ページの最初に示され、資料と会話文をもとに問題を練り上げたり、新たに生まれた問いを解決したりしながら連続的に追究できるように構成されている。 (3) 話合いの場面で、更に追究を深めるための資料や様々な表現方法が例示され、社会的事象の特色や意味を多角的に思考できるように配慮されている。 (4) SDG s に関連した内容が多く提示され、社会の持続可能な発展に関わる問題を自分ごととしてとらえ、社会的な見方・考え方を働かせながら学ぶことができるように工夫されている。 (5) さし絵・写真・統計資料・地図・年表などの資料を1ページに複数掲載するとともに、二次元コードを随所に配置し、ICTを活用しながら比較・関連付けができるように構成されている。 (6) 「学び方・調べ方コーナー」で、グラフなどの読み取り方や道具の使い方、図によるまとめ方を提示し、知識及び技能の定着を図ることができるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容と関連付けてSDG s の取組が紹介され、よりよい社会づくりについて考える態度を養うように配慮されている。 ・ 具体的な資料や写真が配置され、社会的事象について多角的に思考・判断ができるように工夫されている。

地 図

東京書籍

帝国書院

種目（地図）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい地図帳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図に親しみ、我が国の国土や世界の地理的環境について様々な視点で捉えられるよう工夫されている。 ・ テーマ別の資料地図、統計資料等から各学年の学習内容に応じて社会的事象の特色を多角的に考察できるように配慮されている。 ・ 発展的な学びにつながる問いかけにより、地図帳を活用して、課題を発見し解決できるように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 日本の地方図は8地方に主要地域の地図が加えられており、重要な地名・産物・史跡等についてイラストを交えて表記し、文字に縁取りを多用するなど読み取りやすく工夫されている。</p> <p>(2) 統計資料や写真を用いた主題図が掲載され、キャラクターによる着眼点の示唆や囲み枠内の問題提示があり、地図をもとに具体的に追究ができるように工夫されている。</p> <p>(3) 地方図では陰影を抑え、地名や地図記号、産物や史跡などのイラストなどが見やすくなるよう工夫され、親しみやすく学習できるように配慮がされている。</p> <p>(4) 写真・イラスト・資料・地図等は、最新のデータに更新されている。鮮やかで見やすい写真やイラスト、グラフなどの資料を多く使用し、各地の様子や産物の分かりやすさに配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 日本の歴史と世界との関わりを示すページや日本の伝統文化に関するページを用意するなど、各学年や他教科の学習活動に効果的に使用できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 写真資料と共に気候や地形の主題図を載せたり、年表にある出来事の地理的な位置を明示したりするなど、地図と資料、写真を関連付けながら学べるように配慮されている。</p> <p>(3) 日本の自然災害の要因や最新の防災対策について巻末見開きに取り上げたり、都市部の人口移動について掲載したりして、社会の課題を広い視野から捉えられるように配慮されている。</p> <p>(4) 地球儀の使い方を学ぶページでは、実際に地球儀を操作している写真を多く用い、具体的な操作方法のイメージをもたせながら、指導ができるように工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地名や地図記号などが見やすく工夫され、鮮明な写真やイラストで親しみながら地図帳を活用できるよう配慮されている。 ・ 各学年の学習内容や他教科との関連が配慮され、補助資料になるよう工夫されている。

種目（地図）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>帝国書院（楽しく学ぶ小学生の地図帳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料活用力を高め、基礎的な読図技能とその活用を図りながら国土に対する地理的理解を深められるように工夫されている。 ・ 現代社会の課題に関する地図や資料が用意されており、課題の解決に向けた選択や判断をする力が付くよう配慮されている。 ・ 位置や空間的な広がりに着目させる問いかけにより、地図帳を活用した主体的な学びにつながるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日本の地方図は8地方に主要地域の地図や主題図が加えられており、重要な地域の地名・産物・史跡等についてイラストを交えて表記し、正しく読み取れるように工夫されている。 (2) 統計資料やグラフが掲載され、問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置しており、地図帳をもとに進んでテーマ学習ができるように工夫されている。 (3) それぞれの地形図が全体的に鮮明な色調でまとめられており、地形の様子が分かりやすいように工夫され、親しみやすく学習できるように配慮がされている。 (4) 写真・イラスト・資料・地図等は、最新データに更新されている。立体感のある地図表現で、地形の様子が分かりやすくなっており、3学年向けに記載内容を精選した地図が用意されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史学習につながるテーマ地図が用意され、地図上に重要な文化財が示されるなど、各学年や他教科でも効果的に活用することができるよう配慮されている。 (2) 土地の高さによる色分けと、土地利用による色分けがなされた地図表現により、関連した考察が可能になり、地域の特色をとらえやすいよう工夫されている。 (3) 持続可能な社会の実現に向け、SDGsに関連する資料や、自然災害と防災についての主題図が用意されており、現代社会の課題に対する意識が高められるよう配慮されている。 (4) 地形図の成り立ちや地図記号の理解、索引の引き方など、地図帳の使い方に関する内容が冒頭で丁寧に扱われており、基礎的な地図活用の指導ができるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体感のある地図表現で、地形や土地利用が把握しやすく、地図や資料の活用能力を高められるように配慮されている。 ・ 発達段階に応じた学習に対応できるよう配慮され、学年に応じた活用ができるように工夫されている。

算 数

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

日 本 文 教 出 版

種目（算数）

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	東京書籍（新編 新しい算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的活動を重視した展開で構成し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう、繰り返し学習できる配慮がされている。 ・ 数学的な見方・考え方を、言語化して明示的に価値付け、既習と統合し発展的に考える学習展開が徹底されるよう配慮がされている。 ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学んだことを振り返り生活や学習に活用しようとする態度が育つよう配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の論理的な思考・表現の場として「算数マイノート」を位置付け、発達段階に応じて自分や他者の考えを基に、数学的な見方・考え方を働かせて追究できるよう配慮がされている。 (2) 1単位時間の最後に「それなら」を設け、1単位時間の内容を振り返り、発展的に考え、次時の学習内容を創造できるよう配慮がされている。 (3) 説明する場面や話し合う場面が多く位置付けられ、対話的・協働的に問題解決ができるように配慮がされている。 (4) 単元間に復習問題「おぼえているかな？」を設け、既習事項や学習の継続性が分かるように配慮がされている。 (5) ページ番号を白抜き文字にしたり、色数を削減し視覚的な刺激を軽減したりしている。また、重要事項を枠で囲んで明確に区別するなど、重要事項に着目できるよう工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各領域や単元の配置時期を工夫し、基礎的・基本的な内容を段階的に指導できるよう配慮がされている。 (2) 第6学年の最終単元の中に、「ふりかえろう『領域名』の目」を設定し、数学的な見方・考え方に着目して6年間の学習を振り返り、学びの広がりや深まりを捉えられるよう工夫がされている。 (3) 数学的な見方・考え方を、単元末の「つないでいこう算数の目」で価値付けたり、「いかしてみよう」「おもしろ問題にチャレンジ」で日常生活や算数・数学の世界で生かしたりする場を設定できるよう配慮がされている。 (4) 単元末では、学習した内容の定着を図る「たしかめよう」が設けられ、知識及び技能の習得をいっそう確実なものにする問題量が確保できるよう配慮がされている。 (5) 実物の写真を使用した挿絵が多く用いられ、実生活との関連を意識しやすいよう工夫がされている。 (6) 1単位時間ごとにまとめが位置付けられ、知識及び技能に加えて、数学的な見方・考え方についても振り返られるよう配慮がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元、領域、他教科等とのつながりを可視化し、統合的・発展的な学びが展開されるよう配慮がされている。 ・ 挿絵や配色等、視覚的に配慮された構成になるよう工夫がされている。

種目（算数）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">大日本図書（新版 たのしい算数）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習問題や様々な種類のデジタルコンテンツを設けることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る配慮がされている。 ・ 問題提示の工夫や数学的な見方・考え方を働かせる場の設定など、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がされている。 ・ 算数が社会で生かされていることを実感しながら主体的に学習に取り組めるように、児童の興味・関心を高める配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 問題を右ページ、解決方法を次ページに配置する構成を随所に取り入れ、思考・表現する活動が行えるように配慮されている。 (2) 児童が自ら問題を見いだせるような単元の導入コーナーを設けるなど、主体的に学習に取り組める工夫がされている。 (3) 日常生活に関連した題材で児童の興味・関心を喚起したり、学習したことを生活の中で活用する問題を取り入れたたりし、現実の世界と関わり合うように配慮されている。 (4) 第2学年以上は学年一冊の合本にしたり、前学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツを設けたりすることで、振り返りや学び直しがしやすいよう配慮されている。 (5) さし絵や図表などが見やすいように要素を絞ったりタッチを統一したりと特別支援教育の視点にも配慮されており、植物インクの使用や表紙の耐久性、製本の安全性にも配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 第2学年以上は学年一冊の合本とし、学習内容を見通した計画や単元配列の入れ替えをしたり、第1学年では1巻を新設し、初期の学習に特化した指導をしたりできるよう配慮されている。 (2) 領域別単元カラーを設定し、目次や各単元ページを色分けすることで、学習のつながりを意識して系統的な指導がしやすいように工夫されている。 (3) 巻頭に「算数の大切な考え方」のページを新設し、「ひらめきアイテム」の項で、数学的な見方・考え方を蓄積しながら各単元の学習に生かすことができるよう工夫されている。 (4) 単元末の「たしかめ問題」では、基礎的・基本的な知識及び技能を再確認できたり、発展的な学習に取り組めたりする問題が設定されるなど、個に応じた指導ができるよう配慮されている。 (5) 意味が捉えにくかったり、異なる意味と捉えたりするようなあいまいな表現は避け、丁寧で正確な表記に配慮されている。 (6) 第2学年以上の全時間に学習のめあてが設定され、本時のまとめがめあてと対応していたり、練習問題と併せて、自己評価をしながら学習が進めたりできるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の流れに重点を置き、数学的な見方・考え方を働かせながら思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。 ・ 領域別に定められた配色により、単元の系統性を意識して指導できるよう配慮されている。

種目（算数）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ 小学校算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的内容に重点をおいて構成し、概念や原理の習得ができるように配慮されている。 ・ 展開の基本を問題解決学習におき、論理的思考力の育成が図れるように配慮されている。 ・ 生活場面から課題を提示し、それを数理的に試行していく学習を通して、数理的な処理のよさが実感できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 数学的な見方・考え方をキャラクター化することで、児童が見方・考え方を意識しやすくなるようにし、また、易から難へと発達段階に応じたものになるよう工夫されている。 (2) 単元の流れを問題発見から始めながら解決し、新たな疑問を明示することで、学習サイクルが明確になるよう工夫されている。 (3) 単元の導入では「？を発見」を設け、日常の場면을算数で捉えることを通して、新しい課題に主体的に取り組む態度を育成できるように配慮されている。 (4) 巻末に学習内容の定着を図るための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決する「深めよう」を掲載することで、個々の習熟の程度に対応できるよう配慮されている。 (5) 判型をA B判とすることで紙面が整理され、教科書上で作業する際も広く使えるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の指導内容を詳細に分析し、基礎的・基本的な内容を明確にして、系統的・発展的な配列になるよう配慮されている。 (2) 目次に、関連のある既習単元や、次につながる単元を明示することで、学年間や学年を越えた系統的内容が見えるように配慮されている。 (3) 多様な解決方法を提示し、一人一人の考えを大切に学習ができるようにしたり、問題作りや作品作りなどの活動を通して、個に応じた数学的活動ができたりするように配慮されている。 (4) 学習内容を、数学的な見方・考え方をベースにまとめることによって、異なる領域の内容でも同じ見方・考え方をしていることに気付き、領域を超えて理解が深められるように配慮されている。 (5) イラストで話し合い場面を挿入し、意識的に対話的な学びにつながるよう促したり、解決の決め手になる挿絵や作図の場面で道具の使い方が分かる連続写真を入れたりするなど配慮されている。 (6) 各学年末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価を位置付け、学びの深まりを評価する場面を設けるとともに、児童による自己評価も合わせてできるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働かせる数学的な見方・考え方を具体的な例によって示すことで、児童が常に意識して使えるように工夫されている。 ・ 日常の事象を算数の目で捉える場面を取り上げ、課題に主体的に取り組む態度が育成できるよう配慮されている。

種目（算数）

発行者名 採択基準	教育出版（小学算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく学ぶことと既習事項を結び付け、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 ・ 数学的な表現を相互に関連させながら、言語活動を通して数学的に考えたり表現したりする力が育成されるように配慮されている。 ・ 単元で学習したことを活用する機会を設け、算数を学ぶ意義を実感できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「たしかめ問題」や「ステップアップ算数」を設け、発達段階に適した反復練習が行えるようにし、児童がゆとりをもって学習活動に取り組めるよう配慮されている。 (2) 数学的活動の過程を「はてな？→なるほど！→だったら！？」という問いの連続で構成し、児童の主体的な学びが実現されるよう工夫されている。 (3) 単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題として取り上げ、目的意識をもって数学的活動に取り組めるよう工夫されている。 (4) 単元のまとめの問題には、問題ごとに学習内容のページが記され、学習内容を繰り返し学習できるよう配慮されている。 (5) 児童が読みやすいよう鮮やかな印刷がされており、第2～4学年は分冊にするなど身体的な負担についても配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 系統性や個々の習熟の程度などを考慮し、既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や数学的な見方・考え方を関連付けて学習指導できるよう配慮されている。 (2) 基礎的・基本的な内容では、既習事項を振り返りながら無理なく学習が進められるよう配慮されている。 (3) 「つながるミカタ」や「つながるミカタプラス」を設け、数学的な見方・考え方を顕在化し、統合的・発展的に考察できるよう配慮されている。 (4) 異なる領域の学習内容を相互に結び付けた「学びのマップ」や、発展的な学習内容を掲載した「算数ワールド」を位置付け、個に応じた指導に生かせるよう配慮されている。 (5) 作業的・体験的な活動の場面では写真を用いて動機付けしたり、作図の仕方では、連続写真を用いて手順を示したりして、絵や写真が指導に生かせるよう配慮されている。 (6) 授業のまとめは、知識及び技能だけではなく、問題解決を通して働かせた数学的な見方・考え方も振り返り、「なるほど！」の吹き出しを用いて児童の言葉で表されるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が問いをつなげながら学習を進められる構成にするなど、「問い続ける力」が育まれるよう工夫されている。 ・ 目的意識をもち、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよう配慮されている。

種目（算数）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	啓林館（わくわく算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体的に算数を生活や学習に生かすと共に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう配慮されている。 ・ 数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方を働かせて考える場面設定が工夫されている。 ・ 学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする創造的な態度や学んだ算数を生かそうとする態度を培えるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に配慮し、学びの繋がりを重視した構成で、年間配当時数は標準時数よりも余裕を持たせた分量で構成されており、児童が学びやすくなるよう配慮されている。 (2) 全ての主問題に「めあて」と「まとめ」が設定され、児童が見通しを持ったり、振り返って考えたりすることができるよう工夫されている。 (3) 単元末の「やってみよう」では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り入れられ、学習したことを算数や生活に生かせるよう工夫されている。 (4) 巻末の「もっと練習」では、自学自習ができる問題が多く掲載され、児童が繰り返し学習できるよう配慮されている。 (5) 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず児童が読みやすくなるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部構成になっており、一人一人の学びに対応できるように配慮されている。 (2) 単元導入場面では「じゅんび」のページが示されており、既習事項を常に振り返りながら、新たな学習内容にスムーズに取り組めるよう配慮されている。 (3) 学びのつながりを重視し、軸となる数学的な見方・考え方にマーカを付して強調することで、働かせる数学的な見方・考え方を意識した指導ができるよう工夫されている。 (4) 「学びのサポート」の「もっと練習」には補充問題、単元末の「やってみよう」には発展的な課題が掲載されており、個に応じた指導に生かせるよう配慮されている。 (5) 道具の使い方や作図の仕方などは、手順を細かく分割した連続写真や動画を用いて、指導に生かせるよう配慮されている。 (6) 単元末の「たしかめよう」では、問題の設定の意図と関連ページが示されており、指導と評価の一体化を図ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が自ら問いをもち、見通しを立てて追究し、よりよい問題解決に向かうことができるよう工夫されている。 ・ 児童が数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考えていくことができるよう工夫されている。

種目（算数）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">日本文教出版（小学算数）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活や学習の基盤となる算数の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着できるよう工夫されている。 ・ 筋道を立てて考え表現するための学び方が示され、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう配慮されている。 ・ 生活や学習への活用場面のページを充実させることにより、算数の楽しさやよさを感じられるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元前に「次の学習のために」を設け、関係のある既習事項を相互に結び付け、理解を深められるよう配慮されている。 (2) 「単元アプローチ」で日常事象を提示し、興味・関心を高めながら数理的に考える力を育成できるよう配慮されている。 (3) 「つかってみよう」や「算数ジャンプ」、「もっとジャンプ」で、他教科や日常生活と結び付けた総合的な問題を取り扱い、探究的な内容に取り組めるよう工夫されている。 (4) 単元前に「次の学習のために」を設け、次の単元に関連した既習事項の確認ができるだけでなく、働かせる数学的な見方・考え方を意識できるよう工夫されている。 (5) 「よみとろう あらわそう」で、数学的な表現を系統的に整理し、様々な数学的な表現を組み合わせで示すなど、学習した内容を児童が自ら整理できるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では同じ領域の単元を分散的に構成し、高学年は学習効率を考慮し関連する内容をまとめた単元の配列にするなど、児童が学びやすくなるよう配慮されている。 (2) 既習の内容を適用して、新しい知識を得ようとする場面では、既習との関連を「見方・考え方」で具体的に示し、統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 (3) 汎用的な数学的な見方・考え方と各場面に応じた具体的な視点を2段で明示し、児童が数学的な見方・考え方を働かせながら主体的に学べるよう配慮されている。 (4) 巻末の「算数マイトライ」では、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」的な問題を豊富に設け、個々の実態に応じた学習指導がしやすいよう工夫されている。 (5) 挿絵や資料は、本文が具体的に捉えられるようなものを選定しており、問題場面を明確に把握・理解できるよう配慮されている。 (6) 「学びガイド」や「算数ノートをつくらう」に、その時間や単元の振り返りの仕方が明記されており、指導と評価の一体化を図ることができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容を活用する問題を位置付け、算数の世界の広がりや身近さを感じられるよう工夫されている。 ・ つながりのある単元や数学的な見方・考え方を明示し、児童が系統を意識し、筋道立てて追究できるよう配慮されている。

理 科

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信州教育出版社

啓 林 館

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験に関する基本的な技能を身に付けられるよう構成されている。 ・ 問題解決の過程における学び方が「学びのライン」で示され、学習を進めながら問題を科学的に解決できるよう構成されている。 ・ 自然の事物・現象に触れて問題を見いだす場面を設け、児童の気付きや疑問を基に問題解決に取り組めるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻頭や巻末に各学年目標に沿った理科の学び方が示され、学習内容、程度が児童の発達段階に応じるよう配慮されている。 (2) 予想や考察などの思考する場面では、働かせる「理科の見方・考え方」を明示し、問題を科学的に解決するための工夫がされている。 (3) 身近な事象の観察や具体的な活動が示された「レッツトライ」が単元の導入に設定されており、児童の興味・関心や問題意識が高められるよう配慮されている。 (4) 観察、実験の方法が写真や図で順序立てて示され、安全への配慮が必要な場面では、赤い文字で強調された「きけん」マークによって注意喚起されている。 (5) A4判で写真が鮮明で図が大きく、配色、コントラストが鮮明に構成され、児童の学習意欲を高めるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の気付きや疑問を基に追究する単元構成であり、各単元が季節に適した時期に実施されるよう工夫されている。 (2) 「思い出そう」で既習の内容を想起させ、系統的に学習が進むようにし、「予想しよう」や「考察しよう」でキャラクターの対話を示し、他者と関わりながら学習が進むよう図られている。 (3) 導入の活動で直接体験を促したり、観察、実験で適切な結果が得られる方法や手順を示したりして、実感を伴った理解がなされるよう展開が工夫されている。 (4) 巻末資料に、観察、実験の技能や学んだことを活用した発展的な学習内容についてまとめて掲載し、必要なときに確認できるよう工夫されている。 (5) 拡大した写真を並べたり、数多くの写真を時系列に配置したりして示し、比較して問題を見付けたり、事実を基に考察したりすることができるよう工夫されている。 (6) 単元末の「たしかめよう」や、巻末の「ふりかえろう」で、学習内容の定着が図れるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きく鮮明で、資料性の高い写真、図版の掲載により、興味・関心をもって学習に取り組めるように配慮されている。 ・ 「レッツトライ」「問題をつかもう」から「まとめ」まで、問題解決の過程を大きな文字で示し、1本のラインで結ぶことで、児童が見通しをもって学べるよう配慮されている。

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">大日本図書（新版 たのしい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の内容を確認しながら学習活動を進められるよう、下学年で学んだことや学習内容の関連を示すように構成されている。 ・ 問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」に分けて3色で構成し、問題解決の力が身に付くように配慮されている。 ・ 身近な自然事象を扱ったり、体験的な活動を扱ったりし、自然を愛する心情を養うよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻頭ページに、発達段階に応じた「理科の学び方」が示され、児童が見通しをもち対話的に活動できるよう配慮されている。 (2) 単元の導入では、身近な生活経験を想起させる写真を取り上げ、問題を見付け、理科の見方・考え方を働かせて科学的に解決できるよう工夫されている。 (3) 問題解決の過程で、他者の意見を通して自分の考えをより妥当なものにしていく場面が設けられ、「対話的な学び」が実現できるよう配慮されている。 (4) 観察、実験の方法が図や写真と共に順序立てて示されており、野外活動や薬品の取り扱いについては、「注意」マークや「ポイント」マークで強調し、安全への配慮がされている。 (5) A4判の大判を生かしたダイナミックな写真配置や構図となっており、児童の関心や意欲を高める工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年で特に育成したい問題解決の力を身に付ける活動場面が掲載され、児童が思考し判断し表現できるよう配慮されている。 (2) 問題発見や考察の場面では、「ココに注目」の吹き出しで理科の見方・考え方が示され、児童自身で問題を見いだしたり、結果から考察を導きだしたりできるよう配慮されている。 (3) 学んだことが日常生活でどのように活用されているかを示す資料が掲載され、理科の有用性を実感できるよう工夫されている。 (4) SDGsの視点から、地球規模の様々な問題に対して意識できるよう資料や構成が工夫され、観察、実験では環境配慮への取組が示され、環境保全の意識を高められるよう配慮されている。 (5) 学習の各場面に対応するウェブコンテンツへの二次元コードがページ下部に固定して配置されており、スムーズにアクセスできるよう配慮されている。 (6) 「理科ノートの書き方」や「記録と整理の仕方」が掲載されており、適切に記録や整理をしてまとめ、学習を振り返ることができるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の各過程が、全単元共通で省略なく掲載されており、児童が過程を自覚しながら繰り返し活動し問題解決の力を養うことができるよう配慮されている。 ・ 観察や実験、発表において、1人1台端末の活用場面を複数扱い、情報活用能力や言語能力が身に付くよう工夫されている。

種目（理科）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ 小学校 理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験に関する基本的な技能を身に付けられるような構成になっている。 ・ 児童の直接体験が重視され、身近な事象から問題を見いだして観察、実験を行い、問題解決の力を養うように構成されている。 ・ 多様な自然や生物の写真が掲載され、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の思いや願い、付ける力が学習のはじめに位置付けられており、児童の実態に応じて学習が進むように配慮されている。 (2) 身近な生活経験からの事象により、問題を見つけようから問題が設定され、それぞれの予想に沿って実験計画を立て科学的に解決できるよう工夫されている。 (3) 導入部分では身近な事象の写真が取り上げられ、話し合い活動の例示や「もっと知りたい」が示され、児童が興味・関心をもって主体的・対話的に活動に取り組めるよう配慮されている。 (4) 配慮が必要な観察、実験には「注意」と朱書きされ、児童への安全について配慮がされている。 (5) AB判に鮮明な写真が見開きで使われたり、実験の図は対比して示されたりしており、児童の興味・関心が高められるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 思考の過程が意識されており、既習の内容が予想や観察、実験の計画の根拠となるよう単元の配列が工夫されている。 (2) 単元冒頭には、単元を通して児童が働かせる理科の見方・考え方が示され、「予想」「計画」「考察」の場面では対話を通して学習が進められるように工夫されている。 (3) 季節に合わせて観察、実験ができるよう単元が配列されており、身近な事象を示して直接体験を促し、主体的に取り組めるよう工夫されている。 (4) 巻末の「観察する」や「理科室の使い方」において、観察、実験のこつ、方法が写真と説明を対応させて示されており、安全に観察、実験を行うための配慮がなされている。 (5) 写真が大きく使われ、対比しての提示や時間経過に沿っての提示により、事実を基に考察しやすいよう工夫されている。 (6) 単元末に「ふりかえろう」「できるようになった」が設けられており、学習内容の定着が図られるとともに、評価の観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な予想を基にした複線型の学習や、既習の内容を生かした学習など、主体的に問題解決をするための工夫がされている。 ・ 身近な事象から主体的に問題を解決することができるように、学習のはじめに育成を目指す資質・能力を示し、思考力、判断力、表現力等の育成が意識されるように配慮されている。

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>教育出版（未来をひらく小学理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録例や実験器具の使い方が示され、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けられるように構成されている。 ・ 直接体験を重視し、観察、実験の結果から結論を導く授業展開により、問題解決の力が養われるように構成されている。 ・ 生き物の飼育、地域の自然調査の学習活動を通して、生命を尊重する態度や自然を愛する心情を養えるように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の巻頭に「学習の進め方」を設け、問題解決の過程を1本のラインで示し、児童が問題解決の見通しをもちながら学習できるように配慮されている。 (2) 単元の導入では、不思議を感じさせる写真を掲載し、児童の「なぜ？」を引き出す工夫がされている。 (3) 単元毎に主人公を設定し、主人公が対話をしながら問題を解決し、単元末に自分の成長を実感する様子が表現されることで、児童が主体的に学習を進められるように配慮されている。 (4) 裏表紙には、「理科の安全の手引き〇年」が掲載され、観察、実験を行う際の注意・危険事項が児童の目にとまるように配慮されている。 (5) ゆとりのあるA4変型判を採用し、文字にはユニバーサルデザインフォントが使用され、全ての児童への配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 他教科の学習内容との関連が掲載され、教科等横断的に扱うことができるように工夫されている。 (2) 単元の初めに学習の系統を「学習のつながり」で示したり、問題を解決する際に活用したい既習の内容を「思い出そう」で示したりして、児童が系統的に学習できるように配慮されている。 (3) 児童が対話している場面の発言例に「見方のカギ」、「考え方のカギ」のマークとマーカーが付き、理科の見方・考え方が示されている。 (4) 観察、実験のページは黄色の背景で区別されており、安全に配慮が必要な箇所やけがや火傷などのおそれがある箇所には「マーク」を示し、注意喚起されている。 (5) さし絵、写真、図表の内容と本文との関連が密接である。大判の紙面のメリットを生かし、実物大や見開き表示など、ダイナミックなイラストや写真が豊富に掲載されている。 (6) 単元末には、学んだことを日常生活に当てはめて考える問題が示され、深い学びにつながるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の巻頭や予想、考察場面において、考えを伝え合う話型が示されており、言語活動の充実が図られる工夫がある。 ・ 問題解決の場面毎に、主人公が理科の見方・考え方を働かせた対話を基に学び合う様子を取り上げ、理科の見方・考え方を意識付ける工夫がされている。

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">信州教育出版社（楽しい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の身近な素材を活用して、自然の事物・現象への理解を図り観察、実験の基本的な技能を身に付けられるよう構成されている。 ・ 自然の事象と触れ合う中で問題を見だし、観察、実験を通して問題解決することができるように構成されている。 ・ 長野県の地域性を重視し、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容の程度や分量が、各学年とも児童の発達段階に応じるよう配慮されている。 (2) 長野県の特色ある自然や季候に適合した単元配列がされている。写真の多くは、長野県内で見られる自然の風景や地形が使われるなど工夫されている。 (3) 単元の冒頭で、単元全体をイメージできる写真（長野県の自然や学校行事）を使ったり、話合いの場面をキャラクターで示したりして、対話を通して学習が進められるよう配慮されている。 (4) 観察、実験、調査の手順は、写真やさし絵を使って具体的に示されており、二次元コードで検索できる。安全については、注意マークや赤い枠で強調される等配慮がされている。 (5) AB判を採用し、さし絵、写真、図表は鮮明で、細かい箇所はズームアップされた写真、図を用いる配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元で、児童の活動や意識から問題が設定されており、予想、実験、結果、わかったこと（考察）という一連の問題解決の学習過程で構成されるよう工夫されている。 (2) 各単元の冒頭に「思い出そう」の記述を設け、既習の内容の明記により系統性が示されており、内容や単元の関連性や連続性が図られている。 (3) 長野県の気候に合った生物が教材として使われていたり、生育状況に応じた単元配列がなされていたりし、児童が直接自然に触れ、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 (4) 観察、実験では、注意点を赤い枠で強調し、安全かつ正確に観察、実験ができるよう、配慮されている。 (5) 児童の興味・関心や問題意識を高めるために、長野県で見られる地形や行事の写真が使われるよう工夫されている。 (6) 単元末には、本単元で学習した内容を「ふりかえろう」というまとめのページを設けたり、関連した資料を示したりする工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県の特色ある自然や身近な教材を多く取り入れ、生活経験と関係付けて学習を進められるように工夫されている。 ・ 児童が自然と触れ合い、事象を直接体験しながら、問題を見だし、意識の流れに沿い、主体的かつ連続的に問題解決が行われるよう配慮されている。

種目（理科）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	啓林館（わくわく理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験の手順を学びのラインに沿って細かく示し、基本的な技能が身に付けられるように工夫されている。 ・ 学びのサイクルにおいて、各学年で育成する問題解決の力が示され、発達の段階に応じて育成されるよう配慮されている。 ・ 多様な自然や生物についての写真が掲載され、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) どの学年においても学習内容の程度や分量が、児童の発達段階に応じるよう配慮されている。 (2) 児童の会話の中の理科の見方・考え方にマーカーが引かれており、この単元で働かせる見方・考え方を意識しながら学習できるよう工夫されている。 (3) 問題解決の過程を、巻頭で学びのサイクル、内容ごとにラインとして示し、児童が見通しをもち学習できるように配慮されている。 (4) 観察、実験の手順や方法が矢印を使って分かりやすく説明されており、「注意」やアイコンマークを用いて安全面で留意する点が目立つように記されている。 (5) AB判を採用し、児童や自然の様子などを伝える写真やイラストにより、児童の興味・関心を高める配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年内、学年間の既習の内容を生かした学習、季節に応じた学習ができるように、単元が配列されている。 (2) 「問題をつかもう」、「予想・計画」、「結果から考えよう（考察しよう）」の場面で、児童が対話的に学ぶ場面が設定、例示されている。 (3) 単元導入で、「思い出そう」が設定されており、既習の内容や生活経験を振り返ることができ、問題意識を高め、主体的に学習が行えるように工夫されている。 (4) 「自然を大切に」のマークが設けられ、自然を愛する心情や生命を尊重する態度が育まれるように配慮されている。 (5) 観察、実験の様子を写真やイラストを用いて学びのラインに沿って示すことで、手順がより明確になり、指導しやすい工夫がされている。 (6) 単元末の「まとめノート」では、単元の学習内容の大切なことが端的にまとめられており、「たしかめよう」では、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話的に学ぶ場面が多く設定、例示され、その中で理科の見方・考え方にはマーカーが引かれ、その単元で働かせる理科の見方・考え方を意識しながら学習できるよう工夫されている。 ・ 単元末の「活用しよう」では、学習内容を日常生活に関連させ、知識を活用する力を高める工夫がされている。

生 活

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信州教育出版社

光村図書出版

啓 林 館

種目（生活）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 あたらしいせいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付いている児童の姿が具体的に分かるよう配慮されている。 ・ 写真や挿絵等によって、見付ける、比べる等、多様な学習活動例を示し、気付いたことを基に考えられるよう配慮されている。 ・ 自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりできるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の学校生活に対応できるようにスタートカリキュラムを位置付けてあり、安心して学習を始められるよう配慮されている。 (2) 身近な自然や地域の人々と関わって見つけた「まちのよさ」を発信する等、地域への愛着を深められるよう工夫されている。 (3) 気づきを確かなものとしたり関連付けたりして、気付いたことを表現し交流する学習活動が随所に掲載され、興味・関心・意欲を喚起し、伝え合う活動の充実が図られるよう工夫されている。 (4) 一人一人の活動や気づきを多様な方法で表現する活動が発達段階の特性に応じて進むよう、上巻と下巻で配慮がされている。 (5) 対象物と児童が一度に目に入る写真等で、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されるとともに、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードが配置されるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節の流れを軸に時系列で構成され、一つの活動を五段階で示すとともに、他教科とも関連付けながら資質・能力が段階的に高まるよう配慮されている。 (2) 実物大の動植物図鑑などが示されおり、児童が自分の生活の中で実物を見付けやすいよう配慮されている。 (3) 色付く場所が広がっていく鳥瞰図が設けられ、地域を繰り返し探検する活動を通して、空間的な認識が広がり社会的な見方・考え方の基礎につながっていく過程が分かるよう配慮されている。 (4) 「学びをふかめる」が設けられ、気づきを確かなものとしたり気付いたことを関連付けたりする表現活動や交流活動の中で、主体的・対話的で深い学びの姿が分かるよう配慮されている。 (5) 写真や挿絵を説明する言葉が簡潔で、小単元名や本文、マーク、安全・衛生面など紙面の各要素を同じ場所に掲載するといった工夫がなされている。 (6) 学習や生活を振り返る自己評価や、友達と互いのよさを認め合う相互評価の場面が設定され指導に役立つよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気づきを確かなものにしたり関連付けたりする表現活動や交流活動が、挿絵や写真等で具体的に分かるよう示されている。 ・ 他教科とも関連付けながら資質・能力などが段階的に高まるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	大日本図書（新版 たのしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な活動や体験から、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣、生活技能が身に付けられるよう配慮されている。 ・ 児童自身に考えさせるための投げかけを示すことで、問いや考えをもてるよう促し、思考力が育まれるよう配慮されている。 ・ 児童の思いや願いを基に、次の活動へとつながる学習過程の流れを意識した構成となるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムに配慮したページを設け、単なる適応指導とならないよう、指示ではなく、児童が考え選び、実行する流れを意識し、その後の教科学習の素地となるよう配慮されている。 (2) 身近な人々、社会及び自然を学習の対象とし、繰り返し対象と関わり、自分との関係の中で活動できるよう工夫されている。 (3) 友達との伝え合い、クラスでの話合いの場面や板書、掲示を繰り返し示してあり、一人一人の気づきが深められるよう工夫されている。 (4) 生活科の活動が生活に生かされる場面を取り上げ、自分の生活を豊かにしようとする資質・能力を育成するよう配慮されている。 (5) モノクロでイメージを膨らませるページや単元の扉の見開き全面を使った写真、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載し、学習意欲を高められるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列は、動植物の成長、自然の変化などの季節、時間の経過や地域の特徴を考慮するとともに、学校行事との関連も図りながら活動できるよう配慮されている。 (2) 動植物の継続的な飼育栽培活動を通し、命を大切にする心や相手の立場になって考える心などが育まれるよう配慮されている。 (3) 身近にあるものを使って遊びに使うものを作る場面を多数掲載し、挿絵の友達同士の投げかけから気づきの質を高めるヒントを示して、児童自身で気づきの質を高められるよう配慮されている。 (4) 双方向の交流を意識し、相手からの感想や意見をもらう場面を設けるなど、人との交流活動のよさや楽しさを味わい、気づきの質を高めることができるよう配慮されている。 (5) 諸感覚を活用することを促す仕掛けや紙面を盛り込み、児童が体全体を使って直接対象に働きかける生活科特有の学びが実現できるよう配慮されている。 (6) 活動の成果を互いに認め合ったり、過去の自分と比較して自分の成長に気付いたりできるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸感覚を活用した活動・体験を重視し、児童を実感の伴った理解に導くよう配慮されている。 ・ 伝え合い、交流する場面を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で高め合うよう配慮されている。

種目（生活）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなとまなぶしょうがっこう せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を各種コーナーで学習できるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じて、対話の場を設定し、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 ・ 振り返り場面を大切にし、自分のよさに気付いたり、自己肯定感が高まったりするよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、活動や体験の場が、1学年では学校の周辺、2学年では地域へと空間認識の発達に応じて広がるよう配慮されている。 (2) 4人のキャラクターが登場し、児童の発達段階に応じた対話の場を設定し、児童の活動が深まり広がるよう工夫されている。 (3) 児童の言葉を基にしたリード文と活動の楽しさを伝える写真やイラスト、単元マーク、吹き出し等が、児童の興味・関心、主体的な活動や伝え合いを引き出すよう工夫されている。 (4) 資料性の高いページや巻末の図鑑ページが充実しており、児童が自分で活動を広げていけるよう配慮されている。 (5) 表記、表現は児童の発達段階を考慮し、児童の負担にならないよう配慮されている。また日々の授業で、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載するよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の得得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 活動をイメージしやすい単元マークが示されると共に、探検、栽培、飼育、遊び、成長の五つの大単元で構成されており、他教科と関連させて学習が進められるよう配慮されている。 (2) 活動ごとに大単元で構成され、地域や学校、児童の意識の実態に応じて学習時期が組み替えられるよう配慮されている。 (3) 素材や教材が複数提示されており、地域や学校の実態、児童の興味・関心に応じて選択して、繰り返し扱えるよう配慮されている。 (4) 4人のキャラクターによる様々な交流場面が示されており、児童が伝え合ったり、交流したりする活動のヒントとなるよう配慮されている。 (5) 児童の目線からの写真が使用され、児童の活動意欲を引き出すとともに、児童が活動内容や活動の流れを見通せるよう工夫されている。 (6) 具体的な活動の場面ごとに参考となる学習カードが例示され、活動を振り返り、自己の成長を自覚できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動をイメージしやすい単元マークが示されるとともに、他教科と関連させて学習が進められるよう配慮されている。 ・ 児童の意識を大切にし、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育出版（せいかつ）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を「やくそく」や巻末の「学びのポケット」で学習できるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じて、表現活動が系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 ・ 全ての単元が「はっけんロード」をもとに学習が展開され、意欲や自信をもって次の単元へ進むことができるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 園での生活をイメージし安心感がもてるようスタートカリキュラムが盛り込まれ、発達段階に沿って興味・関心が広がり、活動内容や情報量が徐々に豊かになるよう配慮されている。 (2) 全国各地の特色ある写真を用いながら、地域や学校の実情に応じて、活動が深まるよう工夫されている。 (3) 全ての単元導入に「わくわくスイッチ」を設定し、子どもの多様な思い願いを言葉にしながらか、期待感をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 (4) 「学びのポケット」を繰り返し活用することで生活を豊かにしていくための資質・能力を身に付けられるよう配慮されている。 (5) めあてとそれに伴う写真が大きく掲示されていることで、児童が見通しをもつことができ、動き出したくなるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教科目標から抽出した育む六つの力をサイコロマークで示し、他教科との関連や生活科の特質に応じた指導がなされるよう配慮されている。 (2) 栽培や飼育活動が継続的に行えるよう配列され、情報機器を用いながら、主体的な学びを後押しできるよう配慮されている。 (3) 写真や吹き出しの中で活動のつまずきやその解決方法を示すことで、自分自身の課題と重ねながら繰り返し活動することができるよう配慮されている。 (4) 身近な人々との関わりや交流活動が設定されており、交流を通して児童の学びが高まったり、深まったりしていくよう配慮されている。 (5) ICTの活用例を豊富に掲載し、児童の学習を後押しできるよう配慮されている。また、個別の学びを促す場所に、二次元コードを配置する工夫がされている。 (6) 小単元末には「書き込み欄」や「ぐんぐんハシゴ」が用意され、自分の学びを振り返る自己評価の場が設定されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思考力を磨く「ヒント」のコーナーを奇数ページの右側に掲載し、多様な学習活動ができるように配慮されている。 ・ 学習の動機付けを明確にして、児童がめあてをもって主体的に学習を進めていけるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	信州教育出版社（せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通した連続的で具体的な活動や体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるよう配慮されている。 ・ 友達同士の学び合いや情報交換の場、発表会などが位置付けられ、自己の学びを表現できるよう配慮されている。 ・ 動植物との継続的な関わりや四季を通した直接体験の中で、自らが主体的に対象への働きかけることができるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の児童が安心感をもてるようにスタートカリキュラムのページを掲載するとともに、発達段階に沿って児童の興味・関心が広がり深まっていくよう配慮されている。 (2) 同じ対象に年間を通して繰り返し働きかけることのできる構成となっており、対象への思いを深められるよう工夫されている。 (3) 「感動体験」「探究活動」「表現活動」が多様に示されており、より深い学びにつながる情報交換の場が位置付くよう配慮されている。 (4) 活動の端緒となるような吹き出しやイラスト、写真、活動や体験の例が示され、多様な発想に対応できるよう配慮されている。 (5) 観音開きページの使用（4か所）、児童の意識に沿った本文、吹き出し、対話等により、児童の思考が深められるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって身近な、地域の豊かな自然や日常的な事象を取り上げた単元構成となっており、他教科、総合的な学習の時間と関連付けられるよう配慮されている。 (2) 児童が思いや願いを実現していく学習の過程が、吹き出しや写真、さし絵などで示されるよう配慮されている。 (3) 児童がさし絵や写真から活動の広がりや想像したり、試行錯誤しながら活動したりして学習を進めていけるよう配慮されている。 (4) さし絵や吹き出しの中に、児童が、友達や家族、地域の人々と双方向的な交流活動が行われている様子が示され、学習が深まっていくよう配慮されている。 (5) 県内の学校の実践をもとにした、写真やさし絵、文章、作品が多く掲載されている。また、学習の見通しがもてるように、巻頭に二次元コードを配置する工夫がなされている。 (6) 振り返りの場面を大切にし、自分の生活・成長・家族・地域との関わりが自覚できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動が児童の願いから立ち上がるように工夫され、自ら課題をもって学習できる展開になるよう配慮されている。 ・ 長野県の地域に根ざした体験活動が豊富に掲載されており、多様な学習ができるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<p style="text-align: center;">光村図書出版（せいかつたんけんたい）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が身近な人々、自然、社会と関わる中で対象の特徴やよさや楽しさを感じられるよう配慮されている。 ・ 対象と関わったり、試行錯誤したりしながら、思いや願いを実現しようとする姿を写真やイラストで分かるよう配慮されている。 ・ 児童が目的意識をもって活動に臨み、自ら考え、判断しようとする態度を身に付けられるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童が自信をもって学校生活を始めることができるようにスタートカリキュラムを位置付け、言葉や文章も発達段階を考慮した表現で書かれており、活動意欲がもてるよう配慮されている。 (2) 各単元の構成が3段階で構成され、学習のスタートからゴールまでを見通しながら、学習が深まるよう工夫されている。 (3) 各ページの見出しが児童の言葉で表現され、興味・関心を引き出せるよう工夫されており、児童の活動や発見などを交流し合えるよう配慮されている。 (4) 多様な活動の気付きやヒントがイラストや写真で掲載され、児童の活動が広がっていくよう配慮されている。 (5) 児童が活動するときに思ったり感じたりしていることをイラストで掲載し、自分らしく学ぶことのよさに気付くことができるよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 活動のまとまりごとに単元を構成したり、他教科との合科的な指導方法を示したりして、相互の学習効果が高まるよう工夫されている。 (2) 学びを深めるヒントが示され、児童が繰り返し対象に関わり試行錯誤しながら思いや願いを実現できるよう配慮されている。 (3) 「おすすめの やさいの食べ方を きいてみよう」のように、試行錯誤の過程や問題解決の例が示されており、児童が学習を進める上で手だてとなるよう工夫されている。 (4) 自分自身への気付きから、家族や地域の人たちへの相手意識をもった活動へと広がり、学校と家庭との連携、双方向的な交流活動が行われるよう配慮されている。 (5) 内容に即した多様なイラストや写真が掲載されているとともに、注意が必要な学習内容には、二次元コードを配置する配慮がなされている。 (6) 全ての小単元で「ふりかえろう」を位置付け、自分の学びを振り返ることができるよう配慮がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動への思いや願いをもてる写真やイラストを配置し、単元全体を児童自身が見通すことができるよう配慮されている。 ・ 自分らしく学ぶよさをユニークな文章や絵で表現されており、思いや願いをもちながら協働的に学べるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">啓林館（せいかつ）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関わりに気付いている児童の姿が、写真やイラスト、吹き出しで示されるなど、子供の気付きが伝わるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じて、表現活動等を系統的に構成するなど、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 ・ 児童の思いや願いが次の活動につながるように、「めくり言葉」を設定し、活動が連続して進められるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、幼児期に育まれた資質・能力を大切にしながら、安心して学校生活が始められるよう配慮されている。 (2) 児童の思いや願いを高める活動例や学習対象が紹介されており、学校や児童の実態に合わせて取り組めるよう工夫されている。 (3) 「こんなときどうしよう」のコーナーでは、単元の学習で予想される課題が示され、クラスでの話し合い活動で活用できるよう工夫されている。 (4) 「学びのヒント」では、学習に必要な基礎知識や学び方のポイントを掲載し、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (5) 興味・関心を喚起する写真やイラストで、変化や作り方を示したり、もっと知りたいことに応えられる場所に、二次元コードを掲載したりする工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節に沿って単元が構成されており、生活科の学習と他教科との関連を踏まえながら活動が広がり、深まっていくよう配列が工夫されている。 (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるよう配慮されている。 (3) 「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動や、試行錯誤したり繰り返したりして何度も対象と関わる学習活動が位置付けられている。 (4) グループで考えたり話し合ったりする活動の様子が具体的に示されており、協働的な学習を通して気付きの質が高まるよう配慮されている。 (5) 言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、児童の表現活動や交流活動への興味・関心を引き出すような工夫が様々なところでなされている。 (6) 「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果を振り返り、自らの成長や学びの深まりが実感できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元は「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、活動が発展し、深まっていくよう工夫されている。 ・ 児童の生活圏が学習の対象や場として設定されており、児童が身近な環境に直接働きかける学習活動が行えるよう配慮されている。

音 樂

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

種目（音楽）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（小学音楽 音楽のおくりもの）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素が明示され、音楽活動を通して実感を伴いながら理解していけるように構成が工夫されている。 ・ 児童の気付きや思いを引き出すような問いの例が示され、音楽のもつ多様なよさやおもしろさを感じ取ることができるよう、様々な時代や多様な曲種が配列されている。 ・ 多様な教材、活動が配置され、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の発達段階を配慮し、既習事項と関連付けながら系統的に知識及び技能が身に付くよう配慮されている。 (2) 見開きごとに、学習のねらいや見通しをもった学習をサポートする「まなびナビ」が示され、児童が主体的に学びを深め、協働的な学びを引き出すよう工夫されている。 (3) 巻頭に「学習マップ」が示され、児童が学習の見通しをもって、主体的に学習を深めていくことができるよう配慮されている。 (4) 体を動かして鑑賞する活動や「まなびリンク」の掲載、他領域との関連など音楽的な見方・考え方が働くよう工夫されている。 (5) 情景が思い浮かぶような折り込みの写真、児童側から見た楽器の写真など児童が自ら学習に向かえるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 音楽活動を楽しみながら、無理なく資質・能力を育成できるように、全学年を通した領域・分野の系統性に基づいて題材、教材が配列されている。 (2) その題材の主な音楽を形づくっている要素を要として、鑑賞と表現を関連させた題材や、「もっとあそぼう」と既習事項を発展させた学習展開が示されている。 (3) 「音楽のもと」として音楽を形づくっている要素やペアやグループで関わり合う活動が示され、主体的・対話的な学びにつながるよう配慮されている。 (4) 日本各地の楽曲が教材として示されており、地域の実態に合わせた学習を展開したり、児童の実態に応じて学習形態を選んだりできるよう工夫されている。 (5) 歌唱教材には、歌詞の内容を忠実に表した見開きの拡大写真が掲載され、鑑賞教材には楽曲の構造や演奏団体の構成が図や写真で示されるなどの配慮がされている。 (6) 巻末の「音楽のもとまとめ」では、音楽を形づくっている要素を観点とした評価や振り返りができるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 系統的に題材が構成され、音楽を形づくっている要素で捉え、思いや意図をもって学習できるよう工夫されている。 ・ 日本と世界の音楽が取り上げられたり、「ショート タイム ラーニング」で他教科と関連した学習が紹介されたりするなど、音楽と生活の結び付きを意識できるよう工夫されている。

種目（音楽）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	教育芸術社（小学生の音楽）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素が明示され、それを生かして表現や鑑賞の活動が進められるように構成されている。 ・ 発達段階を考慮した系統的かつ各領域分野にわたってバランスのよい構成になっており、音楽的な見方・考え方を働かせて、領域を相互に関連付けながら、学べるよう工夫されている。 ・ 題材のねらい・学習活動・ふりかえりが具体的に示され、主体的な学びにつながるよう構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 楽曲や歌詞の内容、音域などについて、発達段階に応じて考慮され、学習内容も系統的に配列されるよう配慮されている。 (2) 興味・関心を引き出す吹き出しや思考の深まりにつながるような活動のヒントが盛りこまれ、協働的な学びにつながるよう工夫されている。 (3) 学習のねらいや活動の手立てが示され、見通しをもってスモールステップで学習できるよう配慮されている。 (4) 鑑賞では、挿絵や楽器の写真、図形楽譜や比較鑑賞曲が掲載され、楽曲のよさを感じることができるよう工夫されている。 (5) 注目したい箇所を焦点化した歌詞や写真の掲載、枠により、必要な情報を得られるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の得得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に合わせた系統的な題材の構成とねらいに即した教材が配列され、学んだことを関連付けたり活用したりしながら無理なく学習が身に付くよう工夫されている。 (2) 題材ごとに各領域を関連させて学習に深まりが生まれるように工夫され、既習曲や参考曲を活用することでより発展的な学習展開につながるよう配慮されている。 (3) キャラクターの吹き出しなどにより、児童が意見を交流しやすいようなヒントが示され、主体的・対話的に学習が進められるよう配慮されている。 (4) 手遊び歌やわらべ歌、伝統芸能や祭りなど児童の生活に則した教材が幅広く取り上げられ、地域の実態に合わせた学習ができるよう工夫されている。 (5) 図形楽譜や情景を思い浮かべる一助となる写真の見開き掲載、パートが明確になるような歌詞の囲み、場所を統一した二次元コードの掲載など視覚的な配慮がされている。 (6) 題材のねらい、観点別の学習活動、学習のまとめが具体的に示され、評価の観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 系統的に題材が構成され、音楽を形づくっている要素を捉えながら見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・ 社会と音楽の関わりや、日本と世界の様々な音楽を取り上げるなど、音や音楽への興味・関心を高めながら学習し、音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成できるよう工夫されている。

図画工作

開隆堂出版

日本文教出版

種目（図画工作）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">開隆堂出版（図画工作）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達段階に応じた題材が系統的に配列され、形や色を工夫して表していく中で、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 ・ 多様な表現が掲載され、発想や構想を膨らませながら創造的に表現する中で、見方や感じ方を深めていけるよう配慮されている。 ・ 友達や地域とかかわり、対話を通じた造形活動がどの学年にも掲載され、楽しく豊かな生活を創造していけるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年の手や体全体の感覚などを働かせてつくる題材から、高学年の構成の美しさ、表現方法の組み合わせを意識した題材まで、児童の発達段階に応じた内容となるよう配慮されている。 (2) 活動の内容や手順が大きな写真と短い言葉で分かりやすく示され、児童が進んで取り組みたくなるよう工夫されている。 (3) 一題材の中に、多様な表現の児童作品や資料作品の写真が児童の言葉とともに掲載され、児童が感性や想像力を働かせることでイメージをふくらませ、活動を楽しめる工夫がされている。 (4) 巻末の資料や「安全」の囲みで示された注意書きにより、児童が材料や用具の特性を知り、安全に扱うことができるよう配慮されている。 (5) 太字で大きく書かれた題材名やリード文、作り方の図や製作過程の写真、見本写真の図版番号の付与、ユニバーサルデザインフォントの使用など、見やすさや分かりやすさに配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 同じ材料を用いた題材でも、学年の目標に沿って用具や表し方を変えながら題材設定されており、6年間を通じて3つの資質・能力がバランスよく育成されるような題材配列となっている。 (2) 学年ごと、中心となる題材に於いて表現と鑑賞を一体的に扱う作品が掲載され、相互に関連させた指導が取り入れられるよう工夫されている。 (3) 材料体験を通して感性や想像力を働かせ、表したいことについて考え、造形的な視点を生かしながら表現活動を行うことで、見方や感じ方を深められるよう題材の配列がされている。 (4) 「学びの資料」に材料や用具の知識、使い方の工夫、手順等が図や写真・文章で明示され、必要に応じて参照し、造形的な表現がしやすいよう配慮されている。 (5) 児童の作品とともに製作のヒントとなる写真や紹介文が掲載され、材料や用具を生かして自分の表したいことを見付けながら、どのように表していくか手助けとなる配慮がされている。 (6) 中心となるめあてに対応した「ふりかえり」が設定されており、めあてや自己評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの資質・能力がキャラクター化され、題材ごと主目標が設定されており、めあての明確化と学びの深まりに配慮されている。 ・ 児童が追求している写真や多様な表現の作品が大きく掲載され、活動の全体的なイメージがもちやすいよう配慮されている。

種目（図画工作）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">日本文教出版（図画工作）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な表現ができる題材、材料や用具が取り上げられ、つくりながら知識及び技能を生かすことができるよう配慮されている。 ・ 自分が感じたことや体験したことから発想し、試行錯誤している児童の姿や作品が掲載され、創造的に表現できるよう配慮されている。 ・ 造形活動を通して、感じてほしいことや他教科、社会、生活との関わりが表記され、進んで関わる態度を培う配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の内容の系統に準拠した題材、材料や用具が適切に取り扱われ、目指す資質・能力が育成されるよう配慮されている。1・2年上では幼児期の経験を生かすことのできる題材が配置されている。 (2) 教科書の見開きの中に、製作過程の写真と児童のつぶやき等が示されており、造形活動のよりどころとなるように工夫されている。 (3) 各題材が児童の発達段階に応じた題材名と造形活動を想起できる多様な表現と資料で構成され、製作意欲を高められるように配慮されている。 (4) 「気をつけよう」、巻末の「材料と用具のひきだし」では、児童が材料や用具を安全で適切な扱いができるように、見やすいレイアウトでまとめられている。 (5) 児童の意識、表現のヒント、鑑賞のヒントなどが、教科書を通じて、それぞれが同じ色や同じ枠で統一されおり、児童が造形活動の見通しをもちやすくなるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての題材に図画工作科の目標に基づく「学習のめあて」が示されており、育成を目指す資質・能力の三つの柱が分かりやすい言葉で表されている。 (2) 題材ページには、「鑑賞のヒント」が示され、表現と関連した造形活動中の相互鑑賞や対話的な鑑賞のきっかけとなるように工夫がされている。 (3) 自分の感じたことや体験したことを基に主体的に表したいことや表し方について考えながら、造形的な見方や感じ方を広げ、深めることができるよう、題材の配列がなされている。 (4) 形や色に関わる知識及び技能を習得しながら、自分の表したいことに合わせて表し方を工夫できるよう、材料や用具の基礎的な取扱について写真やイラストで丁寧に説明されている。 (5) 絵や工作の題材では、ワークシートやアイディアスケッチが掲載され、児童がどのように発想や構想を広げていけばよいか考えるための手掛かりとなるよう工夫されている。 (6) 各題材のめあてに応じた「ふりかえり」の場が設けられ、自分が表した過程を振り返ることができるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が、感じたこと、想像したこと、見たことなどの身近な事柄から発想や構想を広げて表現する題材が多く配置されている。 ・ 題材ページには、見開き1ページの中に表現と鑑賞が関連性をもって設けられ、児童が対話している姿が構成されている。

家 庭

東 京 書 籍

開 隆 堂 出 版

種目（家庭）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい家庭）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的・体験的な活動を通して、発達段階に応じて必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ 学習過程が大題材において3ステップで示され、課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 2年間を見通して、衣食住に関する内容が、基礎・基本から応用へと、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。 (2) 「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップで構成され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫がなされている。 (3) 実践的・体験的な学習例や、児童の主体的・対話的な学びにつながる活動例が取り上げられており、児童が実感を伴って理解できる学習展開となるよう配慮されている。 (4) 衛生・安全に関する特集ページが新設され、本文中にマークやチェック欄を用いて、注意喚起されるよう配慮されている。 (5) 具体的な手順を示した写真やイラストが配置され、二次元コード、爪見出し等の工夫によって、児童の意欲を高めるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 衣食住や消費生活・環境など全ての内容において、統一感、関連性をもって学習できるよう組まれている。 (2) 「生活を変えるチャンス！」を設け、学んだことを家庭や地域と連携し、実践的な学習活動が展開できるよう配慮されている。 (3) 各大題材の最初に「家庭科の窓」を位置付け、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して、児童が相互に関わりながら主体的に活動できるよう、題材の取り扱いがなされている。 (4) 生活を見つめ、集団や個別で学びながら知識及び技能を高め、資質・能力の習得につながるように学習が配列され、家庭との連携に発展する内容で構成されている。 (5) 時代の進展に応じたSDGsの視点や持続可能な社会の構築に関する内容、プログラミング教育、キャリア教育に関する内容が取り上げられている。 (6) 題材の各ステップのめあてに呼応した「できたかな?」「ふり返ろう」の欄と、題材全体を振り返る「成長の記録」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全題材で、具体的な活動内容が示され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ・ 2年間の学びの記録が作成できるよう、「成長の記録」により、自己の成長を実感できるよう工夫されている。

種目（家庭）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	開隆堂出版（わたしたちの家庭科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるよう生活の課題から実践につなげる工夫がされている。 ・ 問題解決的な学習を取り入れ、課題を解決する力を育てられるように配慮されている。 ・ 各題材に生活を振り返る四つの視点を示し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、日常生活の中の課題を解決する活動を位置付けるなど、学んだことを実践に生かせるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 2年間を見通して、基礎・基本から応用へと系統的な衣食住の題材配列になるよう工夫されている。 (2) 問題解決的な学習に取り組めるよう「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の段階を全ての題材で示すなど構成が工夫されている。 (3) 児童が興味・関心をもって追究できるよう、実践的・体験的な学習例や活動例を写真やイラスト等で取り上げ、児童が実感を伴って学習を進められるよう配慮されている。 (4) 衛生・安全に関する事項を写真・イラストで強調して、注意喚起されるように配慮されている。 (5) 手順が見開きで大きな横流れで示されていたり、写真や図表、イラスト、キャラクター、二次元コードの配置や配色の工夫がなされていたり、児童の意欲を高めるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容に関わる仕事等を取り上げ中学校での学習内容につながるよう、小学校と中学校との学習の連携に配慮されている。 (2) 「生かす・深める」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事と関連付けて活用できるように配慮されている。 (3) その題材で意識する「生活の見方・考え方 4つの視点」を図で示し、児童が主体的に相互に関わりながら活動できるように、題材の取り扱いがなされている。 (4) 吹き出しの問いかけで話し合いの視点を示すことや「生活に生かそう」で日常生活につながる振り返りを位置付けるなど家庭との連携に配慮された構成となっている。 (5) 児童が興味をもちそうな日常生活に係る写真や図、イラスト等を示すことで、時代の進展に応じた社会の様々な事象に目を向けることができるよう工夫がされている。 (6) 題材の内容に応じて「できたかな」「学習を振りかえろう」「生活に生かそう」の記入欄が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理や製作実習の流れが横流れのデザインで統一され、学習の流れがつかみやすいように工夫されている。 ・ 小学校での学習を中学校の学習につなげられるよう、中学校「家庭分野」の学習内容が写真やイラストでまとめられている。

保 健 体 育

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

大 修 館 書 店

文 教 社

光 文 書 院

G a k k e n

種目（保健）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい保健）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中の課題を自分事として捉え、様々な学習活動を通して知識及び技能を習得することができるよう配慮がされている。 ・ 学習した知識を基に自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう配慮がされている。 ・ 他学年や他教科とのつながりや関連資料が示され、学びをつなげ、健康の保持増進を目指すことができるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 小単元での絵や写真の量、記述する量が学年に応じて変えられており、発達段階に応じた内容の配慮がされている。 (2) 小単元が「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」の四つのステップで構成されており、児童の主体的・対話的な学びを支える工夫がされている。 (3) 「実習」「スキル」のコーナーが位置付けられており、児童が自分で試したり生活に生かしたりできるよう工夫がされている。 (4) 重要な語句を解説で詳しく説明したり、資料で関連する内容を扱ったりするなど、児童が理解しやすいよう配慮がされている。 (5) 大きな写真、吹き出しのあるイラストや漫画を用いての問題提示により、児童の学習の意欲を高められるよう工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「どんな自分になりたいかな」「どんな自分になれたかな」のコーナーが設けられ、3～6年の学びの系統化が図られている。 (2) 章扉に、学習に関連する他学年や他教科の学習内容、SDGsの内容が明記され、関連付けに工夫が見られる。 (3) 導入を1ページの大きな写真やイラストで行い、ページをめくると学習課題が示される構成になっており、児童の主体的な学びにつながるよう工夫がされている。 (4) 「スキル」のコーナーで命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。 (5) 章のはじめに目標に向けどのように学習が進んでいくのかイラストで示されており、学習の見通しがもてるよう配慮されている。 (6) 自分の気づきや考え、まとめ等を記入する欄が各ステップに配置され、児童の学びの様子が1冊の中に記録、確認できるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間の学習が4ページ、4ステップで構成され、ステップ1の後にページをめくると学習課題が提示される仕組みになっており、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫がされている。 ・ 各小単元の終わりに「資料」や「スキル」が示され、学習したことを発展的に深めることができるよう工夫がされている。

種目（保健）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>大日本図書（新版 たのしい保健）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめに学習内容を確認する欄があったり、ウェブサイトで問題を設けたり、知識の定着を図る配慮がされている。 ・ 自分の考えを記入したり、他者との話し合いをしたりすることで、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。 ・ 身に付けた内容を家庭や地域において主体的に実践できるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1時間の学習内容を見開き1ページ分にまとめ、発達段階に応じた分量となるよう配慮がされている。 (2) 大単元の導入で、キャラクターを探す活動やフローチャート図などの学習ゲームを用いることで、興味・関心をもって主体的に課題解決に向けて学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）との関連を示し実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 「つかもう」「考えよう」「話し合おう」等の見出しやミニ知識の掲載など、分かりやすさの点で工夫がされている。 (5) 大単元の導入のイラストを細分化し、学習内容に合わせて考えることができ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻末ページに次学年の展望が示してあると共に、将来に向けて夢や目標を記入する欄があり、学びの系統化が図られている。 (2) 関連しているページが分かるように矢印で示されていたり、中学校の単元が示されていたりして、関連付けに工夫がみられる。 (3) 折りこみカードを使用することで、児童が主体的に取り組めるようにしたり、「活動を行うときのヒント」を確認したりすることで、多様な指導方法ができるよう工夫がされている。 (4) リラックスするための呼吸法やけがの手当について実習するコーナーを設け、心身の健康や安全への配慮がされている。 (5) 「もっと知りたい」のページには多くの写真やイラスト、図表が示され、場面や状況が理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 1時間ごとに「活かそう」を授業のまとめに位置付け、大単元のまとめとして、「ふり返ろう」「明日へつなげよう」を位置付け、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大単元導入時に学習ゲーム「わたしたちはどこかな？」を行い、絵から日常に潜む保健的な課題を見だし、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫がされている。 ・ 様々な学習活動を通して課題を解決し、大単元の終末には、記号と記述によるまとめができるよう工夫がされている。

種目（保健）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">大修館書店（新小学校保健）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中の課題を自分ごととして捉え、四つの学習活動を通して知識及び技能を習得できるよう配慮がされている。 ・ 学習した知識を基に自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう配慮がされている。 ・ 日常生活や運動領域と保健とのつながりが示され、健康の保持増進を目指していくことができるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 3、4年では20点、5、6年では31点の資料が提示されており、学年に応じてより発展的に学べるよう工夫がされている。 (2) 1時間の学習の最後に「ほけんクイズ」が設定されており、児童の学習意欲を喚起し、主体的な学びを支える工夫がなされている。 (3) 「体育の窓」のコーナーが設けられ、運動領域と保健の学習との関連が捉えやすいよう配慮がされている。 (4) 「導入」「課題解決活動」「まとめ」の各段階で見出しの色やマークが分けられ、学習の流れを把握できるよう工夫がされている。 (5) 各章扉で、各界で活躍する著名人のインタビューを掲載し、興味や関心をもって学習をスタートできるよう工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「5、6年で学習すること」や「3、4年で学習したこと」が巻末や目次に示され、学習事項の系統化が図られている。 (2) 生活習慣病の学習が虫歯から始められ、児童にとって身近な問題から導入していけるような配列の工夫がされている。 (3) 課題解決に向けて「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」の四つの活動が設けられ、多様な方法や形態で追究できるよう工夫がされている。 (4) 資料の「はってん」で命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。 (5) 児童になじみのない語句について、写真やイラストで例が示されており、意味が理解しやすいよう配慮がされている。 (6) 各章の最後に「学習をふり返ってみよう」のページが設定され、自分の取組の様子や知識の定着、これからの活用に向けた考えについてふり返られるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の配列を入れ替えたり、導入で著名人のインタビューを掲載したりすることにより、児童が興味や関心をもって取り組めるよう工夫がされている。 ・ 発達段階に応じた量の資料や「体育の窓」の掲載により、学んだ知識の活用や、発展学習ができるよう配慮がされている。

種目（保健）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>文教社（新わたしたちの保健）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元で端的にまとめられた「学習のまとめ」が設けられ、その時間で学習した知識の定着を図る配慮がされている。 ・ 追究場面では、「調べる」「話し合う」「やってみる」活動を位置付け、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。 ・ 単元のまとめで、これからの自分を記述する欄を設け、自分の生活の中での実践につなげられるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 3・4年生では選択式、5・6年生では資料や記述による課題把握をしており、発達段階に応じて配慮がされている。 (2) 単元導入時に、生活場면을イメージした写真を掲示したり、自分の生活を振り返り、課題を明らかにして話し合ったりすることを通して、主体的・対話的な学習ができるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みの対処では、運動領域の「体ほぐしの運動」が紹介され、実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 「ここが大事」のコーナーを設ける等、大切な用語や内容を理解しながら、学習を進められるよう工夫がされている。 (5) 印象に残したい言葉や数字を太字で示し、学習意欲を高められるよう配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導要領に示された内容について段階を踏んで学習できるよう、系統性を意識した順序で示されている。 (2) ページ下部の「つぶやきくん」に他学年の学習内容が示されており、他学年の学習内容との関連付けに工夫がなされている。 (3) 交通事故防止や地域での安全では、実際のデータを示すことで、保健の見方・考え方を働かせながら、主体的に活動に取り組めるよう工夫がされている。 (4) 自転車の安全点検に関わる写真が載っており、交通安全への配慮がされている。 (5) 対比できる写真を使用し、よい習慣とよくない習慣を比較して考えられるよう工夫がされている。 (6) 各単元の章末に、「これからの自分の課題を考えよう」の欄があり、単元の学習を振り返るとともに、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実生活と結び付きやすい写真やデータを示し、保健の見方・考え方を働かせ、これからの生活をよりよくしようとする意欲が高まる工夫がされている。 ・ 各単元の章末に「〇〇宣言」の欄が設けられ、自身の生活をよりよいものにしようとする意欲が高まる工夫がされている。

種目（保健）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>光文書院（小学保健）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章末に学習してきた重要な言葉を選択して答える問題を設けることで、知識が定着するよう配慮がされている。 ・ 話し合ってから考える活動や、周りの意見を聞く活動を取り入れ、他者と考えを交流できるよう配慮がされている。 ・ 児童が自分の健康課題を解決し、学んだことを実生活に生かせるよう配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元のはじめに4コマ漫画が示され、これから学習する内容が発達段階に応じて理解しやすいよう配慮がされている。 (2) 「見つけよう」の活動を設定し、はじめに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから課題を提示することで、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされている。 (3) 「やってみよう」の活動を設定することで、体育（運動領域）と関連させて実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 学習のまとめには星印をつけ、大切な文章であることが分かりやすいよう工夫がされている。 (5) 黒板のイラストの中に「学習の課題」を設けることで、的確に学習課題をつかみ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容のねらいに即し、4年間を見通して系統的な順序で配列されている。 (2) ページ下部に他学年の内容が示されており、各内容の配列や関連付けに工夫が見られる。 (3) 課題解決に向け、自分自身の生活と比べたり、自分の考えを他者に伝える学習活動を提示したりし、多様な方法で課題追究ができるよう工夫がされている。 (4) 外出時の安全や自然災害の備えに関するイラストが記載されており、実践につなげられるよう配慮がされている。 (5) 様々な分野で活躍している人物の写真があり、保健の学習と実生活の関わりが理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 各章末に「学習のまとめ」があり、自己評価したり自分の生活に生かしたいことを考えたりする活動を設定し、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章や毎時間の始めに、日常生活における課題や情報と保健で学習する内容を結び付けられる活動を設定し、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・ 学習の流れや進め方が分かりやすいよう紙面構成され、基本的・基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫がされている。

種目（保健）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	Gakken（新・みんなの保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活を振り返ったり、実習などの活動を取り入れたりすることで、健康や安全について理解が深まるよう配慮がされている。 ・ 三つのピースを通して、自己の課題を見付け、その解決に向けて、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。 ・ 生活と重ねて自分ごととして考えたり、他教科と関連付けたりすることで、実践意欲を高められるよう配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 写真やイラストを大きく配置することで、学年の発達段階に応じて学習の興味・関心が高められるよう配慮がされている。 (2) 大単元の導入に身近な生活場面の写真を用いて自己の生活に重ねて問いを設定できるようにし、「ふり返る」「話し合う」等の活動により、主体的・対話的に学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）との関連を示し実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 言葉の詳しい説明や関連する情報をページ下に記載し、分かりやすさに配慮した工夫がされている。 (5) 写真やイラストにより場面や状況を視覚的にイメージしやすくし、学習意欲を高められるよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻末ページに次学年や中学校での学習内容が示され、系統化が図られている。 (2) 「つなぐ」のマークで他教科や他学年の学習内容やキャリア教育と関連付けて学習することができるよう工夫がされている。 (3) 三つのピースで「資料を読み取る」「意見を出し合う」「実習」など多様な学習形態が設定され、主体的に相互に関わり合いながら学習を進められるよう工夫がされている。 (4) 外出時や自然災害への備えについて「安全な生活のために」のコーナーを設け、心身の健康や安全への配慮がされている。 (5) 科学的資料「かがくの目」、「ほけんのはこ」コーナーでは発展的な資料を扱い、より学びを広げるための工夫がされている。 (6) 大単元のまとめとして「ふり返る」「伝える」「つなぐ」を位置付けたり、記入欄を多く設けたりして、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の生活行動を振り返り、健康との関連から課題を見いだし、他者と交流しながら多様な学習活動を通して、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫がされている。 ・ 随所に記入欄を多く設け、ワークブック的な活用ができ、1冊の教科書で完結できるよう工夫がされている。

外 国 語

東 京 書 籍

開 隆 堂 出 版

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書 出 版

啓 林 館

種目（外国語）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（New Horizon Elementary English Course）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く活動で表現に慣れ親しみ、学習した表現を使ってペアやグループで話す活動を行い、読む・書く活動につながる構成で、外国語についての基礎的な技能を身に付けられるように配慮されている。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、主体的に考え、表現できるよう言語活動が設定されている。 ・ 自分や身近なことから、日本、世界とのつながり、SDGs に視野を広げ、他者や世界との関わりに着目できるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1ページ1時間、各単元が見開き4パート構成、計8時間の8単元構成で、標準時間内で学習ができるように配慮されている。 (2) 音声に慣れ親しむ活動から、新しい単語や表現に気づき、コミュニケーション活動の中でそれらを活用することで身に付けられるよう工夫されている。 (3) 見通しをもつ Our Goal、伝えたいことを考える Your Plan、会話や発表で気を付けたいことを考える Your Goal のスモールステップの単元構成で、主体的に学べるように配慮されている。 (4) 5年生は音声中心で、6年生で徐々に読む活動、書く活動が導入されている。各単元、文字と音の関係の学習が2ページ分扱われており、音声から読み書きへ進めるように配慮されている。 (5) A4判で理解を助ける鮮明な絵や写真、図が豊富に使用されている。フォントや配色にUDデザインが使用されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 慣れ親しむ練習活動から、表現を考えて会話や発表を楽しむ言語活動を行う自然な流れで単元が構成されている。Over the Horizon は主体的に世界の文化を学び、考える工夫がされている。 (2) 5年は日本、6年は世界をテーマに言語材料が配列され、既習事項を繰り返し学習することができる工夫がされている。 (3) 言いたいことを考え言語材料を選択して伝え合ったり、グループで発表をしたりする協働的な学習で、知識及び技能や内容の定着、自己表現力の育成が図られるよう工夫されている。 (4) 目的に応じて思考・判断して情報を整理し、考えを発信する活動が豊富に用意されている。 (5) 各単元になぞり書き書体が使用されている。紙面にある日本と世界地図には、名所紹介を助ける工夫がされている。 (6) 各単元には評価の3観点に即した目標とふり返りが、CAN-DO リストには2年分の目標が明示され、指導と評価の一体化が図れるように、また児童と共有し自己評価できるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書に設けられた豊富な書き込みスペースは考え表現する工夫がされ、ワークシートがなくても児童の学びの足跡となる。 ・ 別冊A4判の絵辞典は、巻末に単元別表現集と CAN-DO リストがあり、語彙も紙面に700語デジタル辞書に300語収録され、空欄4線に書き込みもでき自分だけの絵辞典となる。

種目（外国語）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>開隆堂出版（Junior Sunshine）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ コミュニケーションに大切なことを考える活動が設定されており、児童が目的や場面、状況などに応じて、工夫して表現できるよう配慮されている。 ・ 各単元で異文化情報が扱われており、外国の文化や生活を理解し尊重する心が育つよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって身近な話題を適切な時数で扱い、学習者が負担なく学習に取り組めるよう配慮されている。 (2) 平易なインプットから無理なくアウトプットにつながる言語活動が設定され、聞くこと・話すことを中心に、段階的に読むこと・書くことを学んでいくことができる単元構成がなされている。 (3) カテゴリーゲームやポインティングゲームなどゲーム活動を取り入れながら学習意欲を喚起し、対話的な活動へつなげている。 (4) 各単元が、聞くことから始まり、簡単な発話によるやり取りを経て、発表・やり取りへ進み、基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動を段階的に行うことができるよう、配慮されている。 (5) A4判で、写真や図が鮮明であり、児童が視覚的・具体的に学習の見通しをもつことができるよう、配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) クラス内での自己紹介、学校や地域、国内、国外へと学年や単元が進むにつれて視点が広がっていくよう、各 Lesson の題材内容が配列されている。 (2) 児童にとって身近な語彙・表現を中心に言語材料が配列され、獲得した知識及び技能を実際のコミュニケーションの中で繰り返し使用し、定着を促すことができるよう配慮されている。 (3) 児童が自身の興味・関心や経験などを発信する具体的な言語活動を通して、友と交流をしながら、基礎的な英語表現に触れていくことができるように配慮されている。 (4) コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるよう配慮されている。 (5) 発表のやり方を示したイラスト、吹き出しなど、言語活動を行う際、単元のねらいが達成できるように工夫されている。 (6) 巻末にある CAN-DO チェックでは、3観点と対応した振り返りができるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を使いながら学べるよう、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が充実している。 ・ 別冊の絵辞典は、カテゴリー別に語句をまとめ、絵を手がかりに、「知りたい」「言いたい」単語をすぐに探し出せるようになっている。6年生版では語彙が強化されている。

種目（外国語）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">三省堂（CROWN Jr.）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> • Hop、Step、Jump で構成され、段階的に自らの目標を設定し見通しをもって学習できるように、構成されている。 • 日常の児童の活動に関連した題材があり、興味を喚起しながら、教科等横断的な学習を進めることができるように工夫されている。 • 振り返り表（CAN-DO チェック）が巻末にあり、3観点と対応した自己評価ができるようになっていて、児童が見通しをもって主体的に学べる工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 言語材料は、アウトプットの前に十分なインプットができ、平易なものから段階的に配列されるなど、分量に配慮がある。 (2) 聞くことから話すことへ、また読むことから書くことへ段階を踏んで十分に練習をしてから移行できるよう工夫されている。 (3) コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にした言語活動が豊富で、相手と主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができるように配慮されている。 (4) 1時間の授業の中で、見通しをもったり、視覚的に気付きを促す工夫がされており、児童が意欲をもち活動に取り組める工夫がされている (5) A4判で、挿絵や写真を見るだけで、単語の意味や学習内容を理解する助けとなっている。ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 目次に、単元の目標と授業のゴールが明示されている。いくつかの単元ごとに設けられている「JUMP」で、既習内容を復習しながら表現活動をする構成となっている。 (2) 聞くことを通して新出表現に触れて確認後、話す活動で口頭練習、続いて読む活動や書く活動につなげることで、学習した表現を活用できるよう工夫されている。 (3) 対話で使う英語の表現を、児童が選択して、考えながら学習することで、主体的に活動できるように配慮されている。 (4) 吹き出しを使って既習表現が例示され、言語の使用場面や言語の働きが明示されており、コミュニケーション活動に取り組みやすいよう配慮されている。 (5) 写真やイラストは英語の意味を推測できるように関連付けられていて、活動の見通しがもちやすいよう工夫されている。 (6) 各観点についての「振り返り」を記入する欄がユニットの最後にあり、児童の記述から評価が行えるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> • 各学年が3つのUnitで構成されていて、それぞれに言語活動の目標が設定されている。ユニットの中で小さなゴールを達成しながら語句や表現を身に付けていくような構成である。 • 別冊絵辞典「My Dictionary」には、場面に応じて単語が整理されている。各学年のCAN-DOリストが記載されている。

種目（外国語）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（ONE WORLD Smiles）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞くこと・話すことを中心に、段階的に読むこと・書くことへ移行することで基礎的な技能を身に付けられるように配慮されている。 ・ 単元末にある3観点に対応した振り返り表を活用して、児童が見通しをもち、主体的に学習に臨めるよう工夫がされている。 ・ 学校生活に合った活動やテーマがあり、他の教科・領域の学習とつながりのある要素を英語学習に生かせるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 外国語活動から円滑に移行できるよう、文字や説明を精選し、学習者が負担なく学習に取り組めるよう配慮されている。 (2) 平易なインプットから無理なくアウトプットにつながる言語活動が設定され、聞くこと・話すことを中心に、段階的に読むこと・書くことを学んでいくことができる単元構成がなされている。 (3) 単元のテーマについて、自分の考えを整理したり、友と考えを交流する中で自分の考えを深めたりしていく Think コーナーがあり、対話的な学習を促す工夫がなされている。 (4) 各単元が、聞くことから始まり、簡単な発話によるやり取りを経て、発表へ進み、基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動を段階的に行うことができるよう配慮されている。 (5) 1 ページに概ね一つの活動が設定されている。写真や表が鮮明で、視覚的・具体的に学習の見通しをもてるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) クラス内での自己紹介、学校や地域、国内、国外へと学年や単元が進むにつれて視点が広がっていくよう、各 Lesson の題材内容が配列されている。 (2) 児童にとって身近な語彙・表現を中心に言語材料が配列され、獲得した知識及び技能を実際のコミュニケーションの中で繰り返し使用し、定着を促すことができるよう配慮されている。 (3) 児童が自身の興味・関心や経験などを発信する言語活動を通して、英語表現に触れていくことができるように配慮されている。 (4) 特有の表現が使われる場面が設定され、言語の意味や働きを体験的に理解できるよう配慮されている。 (5) 絵カード、自己表現のためのワークシート、活動用シールなど、言語活動を行う際、表現意欲を高めるよう工夫されている。 (6) 各単元末にある Review や評価の3観点と対応した振り返り表をもとに、学習内容や評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話す内容やコミュニケーションについての気付きを促し深めるコーナーが設けられており、互いを尊重し合いながら、よりよい関わり合いを意識した英語学習ができるように配慮されている。 ・ 6年生の後半から始まる文構造への気付きを促す活動や小学校の学習のまとめとして取り組む活動が位置付けられている。

種目（外国語）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>光村図書出版（Here We Go!）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いたり話したりする音声中心の学習から、文字の学習に段階的に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身に付けられるよう工夫されている。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて主体的に表現できるよう工夫されている活動が多く設定されている。 ・ 自文化や異文化について扱う単元があり、自国や他国の文化、生活を理解し、尊重する心が育つよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 内容が発達段階に即していて、児童が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されており、分量に配慮がある。 (2) 各 Unit の Step では「ストーリー」を通して学習する表現に気付くことから始まり、インプット中心の活動からアウトプットする活動へと、スモールステップを踏んだ活動が組まれている。 (3) 聞く活動では場面設定が、話す活動ではコミュニケーションの目的が、明確に示されており、主体的に対話しようとする意欲を高める工夫がされている。 (4) 十分に聞いたり話したりして慣れ親しんでから、文字、単語、語句、文を読んだり書いたりする活動へと段階を踏んで学ぶことができるように配慮されている。 (5) 写真やイラストが多く使われていて、活動の内容を推測しやすく言語活動が具体的にイメージできる。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習のテーマが示され、5 学年では自分、他者、地域、6 学年では日本、世界、将来というように視点が広がっていくテーマで構成されている。 (2) 平易なものから段階的に配列されている。次学年や中学校の目標も併記されていて、見通しをもって学習しやすくなっている。 (3) 各 Unit で、基礎的な知識及び技能の習得を先にして、それを活用しながら自分の身近なことについて、習熟の度合いに応じて主体的に表現する言語活動が配置されている。 (4) 聞く活動では場面設定が、話す活動ではコミュニケーションの目的が明確で、言語の働きに気付き、理解しやすいよう工夫されている。 (5) 写真やイラストから活動の内容が推測しやすく、聞き取る活動では場面をはっきり見分けられる写真が多く用いられている。 (6) 巻頭に、「○年生でできるようになること」が明記され、単元終了ごとにチェックできる工夫がされ、達成度を確認できる。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙面に発話例が記されており、それを手がかりにすることもできるが、活動に必要なすべてのセリフをあえて示していないことで、児童が主体的に考えることができる工夫がある。 ・ 2 年間に渡って「ストーリー」が展開され、児童がキャラクターに興味をもって言語活動ができる工夫がされている。

種目（外国語）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">啓林館（Blue Sky elementary）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ どのような工夫をして伝えればよいのかを考える活動が設定されており、児童がコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、工夫して表現できるよう配慮されている。 ・ 各単元で異文化情報が扱われており、外国の文化や生活を理解し、尊重する心が育つよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 年間配当時数が余裕をもって設定されている。必要に応じて、練習活動や調べ学習などの個に応じた活動を取り入れられるように配慮されている。 (2) 児童が、自分のことについて話す活動が設定されており、練習活動に偏った指導にならないよう配慮がされている。 (3) コミュニケーションで大切なことを考えられる映像や活動が扱われ、主体的、対話的な学習を促す工夫がなされている。 (4) 文字と音の関係が各単元で扱われており、児童が慣れ親しんだ音声を基に読んだり書いたりする学習を進めていくことができるように配慮されている。 (5) A4判で、各単元で行う活動の位置が紙面上で固定化されていることで、全ての児童が迷わずに活動することができるように配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 言葉を使う場面を把握し、聞いたり使ったりして慣れ親しみ、話す活動を行う、そして読む、書く活動を行う単元構成であり、5領域の力をバランスよく育成する工夫がされている。 (2) 自分のこと、過去のことなど、似た表現を使う単元がまとめられており、言語材料の配列や関連付けが意識されている。 (3) ペアで話す活動が各単元で扱われており、自分が伝えたい内容や言葉を選び言語活動ができるように配慮されている。 (4) 自分について伝え合う言語活動が多く取り入れられ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて伝え合う力を養えるよう配慮されている。 (5) まとめの活動では活動中の写真や発表の資料などが掲載され、活動のイメージがもちやすくなっており、単元のねらいとの関連が密接である。 (6) 巻末の Can-Do List は評価規準につながるように設定されており、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思考力、判断力、表現力等を育成するために、どのような工夫をして伝えたらよいのかを考える活動が設定されている。 ・ ゲーム要素のある活動ではなく、自分について話す活動が設定されており、児童がコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて表現できるよう工夫されている。

道 德

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書 出 版

日 本 文 教 出 版

光 文 書 院

G a k k e n

種目（道徳）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	東京書籍（新編 新しい道徳）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全教材に自己を見つめる発問が示され、自分との関わりで考えを深める学習が展開できるように工夫されている。 ・ 道徳的価値に根差した問題を見付け、多面的・多角的に考えながら議論する学習指導過程を示す配慮がされている。 ・ 自分について考える教材に扉を付け、発展的な教材も付いて、自己の生き方の考えを深める学習に取り組めるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 叙述の読み取りを助けるために発達段階に応じた写真やイラストの効果的な配置により、教材の内容を十分に理解し学習が進められるように工夫されている。 (2) 冒頭を内容項目の視点と教材名に絞ることで、学級の実態に応じた柔軟な展開ができ、道徳的価値に迫る工夫がされている。 (3) 教材末の「考えよう」では、自己を見つめる発問が記号で分類して記載されており、児童も一目でわかる工夫がされている。 (4) 各学年「考えるためのツール」が巻末にあり、可視化された考えを客観視したり、友と比較したりできるように工夫されている。 (5) 弱視やディスレクシアに配慮したUDデジタル教科書体が採用され、吹き出しの利用などで児童が読みやすい工夫がされている。 (6) 内容理解を助け意欲的に考えられるよう、発達段階に応じて挿絵や写真、グラフ、表などの大きさや配置が工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では絵や写真、中学年では身近な教材文、高学年では多様な教材が、発達段階に応じて適切に配置され、道徳的価値を多様な形で学べるよう工夫されている。 (2) 学校行事や児童の生活実態に即した指導内容と指導時期が考慮された教材が配列され、各校の全体計画に基づいた年間指導計画が効果的に作成できるように構成されている。 (3) 現代的な課題の五つのユニット（いじめ、いのち、じぶん、情報モラル、安心・安全）が全学年で示され、他教科と横断的に連携させながら学習展開しやすいよう工夫されている。 (4) 道徳的価値に迫るための場面の状況がより深く把握できるよう叙述と挿し絵のレイアウトが工夫されている。 (5) ICT端末を利用した「デジタルノート」だけでなく、教科書に直接書き込める教材もあり、児童が自らを振り返って成長を実感したことを把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冒頭の情報量を減らし先入観なく教材を読める工夫や、叙述を助ける挿絵の大きさや配置の工夫、厳選された2つの発問の提示など、簡潔な構成のため実態に応じ柔軟に活用できる。 ・ 児童の生活実態に即した指導内容と指導時期が考慮され、特に現代的な課題については五つのユニットに分け全学年同時期に配列され、教科等横断的な学びが実現できるよう工夫されている。

種目（道徳）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（小学道徳 はばたこう明日へ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ内容項目の教材が、時期を変えて配置され、より深く、新たな観点で、児童が自己を見つめられる工夫がなされている。 ・ 「やってみよう」では、動作化や役割演技など、多様な視点から物事を見つめ、多面的・多角的に考えられる工夫がされている。 ・ 教材末の「深めよう」では、児童が自分事として考えることで、自己の生き方について考えを深められるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では人物教材を重点的に扱うなど、発達段階に応じた配慮がなされている。 (2) 導入部にキャラクターによる吹き出しや二次元コードがあり、道徳的価値や教材内容へのスムーズな導入が意識されている。 (3) 「問題を解決しよう」では、自ら問題を見付け、主体的に考えられるような発問で、思考を促す配慮がなされている。 (4) モラルスキルトレーニングなど体験的な活動が複数回取り入れられ、多面的・多角的に考えられるような構成がなされている。 (5) 教材本文部とルビ部で異なったフォントの使用、当該学年の漢字や固有名詞などが登場する度に振り仮名が付けられているなど、発達段階に応じた配慮がなされている。 (6) 各学年の重点テーマが扱われている目次やページには、黄色の枠が付けられ、児童が重点テーマを意識する工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じ、物語教材、生活教材、人物教材のバランスが配慮され、他教科や特別活動との連携を示すなど、児童の発達段階や教育活動全体を意識した多様な教材が配置されている。 (2) 本教材 30 本＋補充教材 5 本で構成され、補充教材に替えて、地域の偉人や風習、自作教材を扱うなど、地域や児童の実態に応じた指導計画を作成できるよう配慮がなされている。 (3) 重点テーマが全学年共通、学年ごとにも設定されており、複数の教材とコラムを合わせユニット化されており、多面的・多角的に考えることを促す工夫がされている。 (4) マンガ形式で並べられた絵、見開き全面のイラストなど、自由な発想を促し、内容理解につながるような配慮がなされている。 (5) 各教材末の振り返り欄、巻末の振り返りページなど自己を振り返る機会が複数あり、そこから児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年、各教材末に「学習のてびき」が設定され、児童が考え、議論しながら、自分の生き方についての考えを深められる発問が用意されている。 ・ 全学年共通のテーマの他に、学年毎に重点テーマを設定し、複数の教材とコラムを合わせユニット化し、多面的・多角的に考えることを促す工夫がされている。

種目（道徳）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	光村図書出版（道徳 きみがいちばんひかるとき）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年冒頭の「道徳が始まるよ」で道徳の学び方が示され、児童が自己を見つめながら主体的に学べるよう工夫されている。 ・ 「図を使って考えよう」「演じて考えよう」などが設けられ、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・ 教材末に「考えよう・話し合おう」が設けられ、学んだことを自分に引き寄せて考えられるよう発問が工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に合わせ、学年に応じて重点的な内容項目が設けられ、確かな学習経験となるよう配慮されている。 (2) 複数の道徳的価値が含まれた「なんだろう なんだろう」が設けられ、児童が進んで考えられるよう配慮されている。 (3) キャラクターによる児童への呼びかけの言葉で、主体的に学習に取り組んだり、他教科や日常生活に学びが繋がったり、自分のあり方を考えたりできるよう配慮されている。 (4) 体験的な学習「演じて考えよう」が設けられ、児童が実感をもって道徳的価値について考えが深められるよう配慮されている。 (5) 本文に光村教科書体を使用したり、B5変型判を用いたりして、小学生が手に持ちやすく扱いやすいよう配慮されている。 (6) 色の別だけに頼らず、文字の説明を加えるなど、色を見分けにくい児童にも情報が伝わるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 読み物教材だけでなく、漫画形式の教材、見開きの1枚絵や写真からなる教材など、多様な教材が位置付けられるよう配慮されている。 (2) 清掃活動、学級会、給食、遠足、保護者参観など、多くの学校で行われている活動や行事を題材にした教材が位置付けられ、学校の実態に応じて指導計画が作成できるよう配慮されている。 (3) 現代的な課題について、教材＋コラムで構成した「ユニット」が設置され、6年間でSDGsに示されている17の目標全てに触れられるよう配慮されている。 (4) 登場人物を把握しやすいよう、挿絵に登場人物名が添えられ、教材の内容把握に負担を感じさせないよう配慮されている。 (5) 巻末折込の「学びの記録」にシールを貼ったり、一言感想を書き込んだりして自己評価を行い、児童が自分の変化や成長を自覚している様子を把握できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材は「導入→教材→学習のてびき」で構成されており、キャラクターや登場人物による呼びかけで、問題解決的な学習、体験的な学習が可能となるよう構成されている。 ・ 多様な教材により児童がさまざまな道徳的価値に触れ、発達段階に合わせて対話する力を育み、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えることができるよう配慮されている。

種目（道徳）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">日本文教出版（小学道徳 生きる力）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人との関わりを大切にした豊富な教材や発達段階に応じた道徳ノート構成等、自己を見つめられるよう工夫されている。 ・ 話合いや役割演技など、体験的に学ぶ多様な学習方法が示されており、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・ 教材文末に2点に絞った課題の提示とさらに考えを深める資料を掲載し、自己の生き方について考えを深める工夫がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じて絵や文字の量のバランスが工夫されており、児童が取り組みやすいように配慮されている。 (2) 教材の冒頭に内容項目に関するキーワード、教材文の概要や登場人物、学習内容に関わる発問例を示し、児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう配慮されている。 (3) 教材のねらいにせまる発問と自分自身を振り返る発問の2点を端的に示し、自己を見つめて学習できるよう工夫されている。 (4) 話合いや役割演技等、体験的に学ぶ学習やコラム、ワークシートを盛り込み、多面的・多角的に考える工夫がされている。 (5) 読みづらさが学習の妨げにならないよう、UDデジタル教科書体を使用したり、文章を短く区切ったり工夫がされている。 (6) 教材に関する写真が複数掲載されていたり、表情が鮮明に表現されていたり、教材内容を把握しやすいよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じて児童が自分ごととして捉えやすいよう、現代的・社会的な課題への対応を考える教材や学校生活と結び付けて考える教材が多く配置されている。 (2) 年間 35 時間分の教材の他に「ふろく」として3教材が収められており、学校の実態に応じて教材を選択したり、自主学習に役立てたりできるよう配慮されている。 (3) 現代的な課題であるいじめを間接的に扱った教材を年間3回設定し、その前後で生命の尊さに関する教材を配列し、いじめを許さない心を育てる工夫がされている。 (4) 道徳的価値の理解のために鮮明な写真を複数掲載し、児童の興味・関心を引き出して指導を展開できるよう工夫されている。 (5) 別冊の「どうとくノート」に学習の記録をし、児童が自己を見つめ、学習の積み重ねを実感できるようにするとともに、教師が児童の学習の様子を把握できるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の経験とつながる場面を多く取り上げ、自己を見つめる発問を配置したり、鮮明な写真や表情が分かる大きなイラストを掲載したりして児童が考えやすくなる配慮がされている。 ・ 児童の発達段階に配慮した記入方法の道徳ノートが付属しており、継続して道徳的価値について考えを深めたり、自分の成長を実感したりできるよう工夫されている。

種目（道徳）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	光文書院（小学道徳 ゆたかな心）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教材の冒頭に「問い」を提示し、児童が自己を見つめ、問題意識を明確にした上で学習できるように配慮されている。 ・ 各教材中にある「かんがえよう」では、多面的・多角的に考えることができる発問を提示し、児童の思考を促す配慮がされている。 ・ 終末の「まとめよう」「ひろげよう」の発問では、学びを振り返り、自己の生き方についての考えを深められる工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 自分のこととして考えやすい話題や、人間として生き方に迫る話など、多様な教材が発達段階に合わせて適切に配置されている。 (2) 一枚絵や写真、漫画などの表現方法を取り入れ、児童の興味・関心を喚起し、日常生活や自分との関わりを意識付けることで、道徳的価値の追求に結び付ける工夫がされている。 (3) 各教材にある2種類の「かんがえよう」の発問を通して児童が自ら考え、主体的・対話的に学習できるような工夫がされている。 (4) 学年冒頭「いろいろなやり方で考えてみよう」の思考ツールの活用方法紹介の中で、体験的な学習について提案されている。 (5) 文章の読みやすさを考慮し、漢字は前学年までに習ったものを使用し、必要に応じて言葉に脚注を付けるなど配慮がされている。 (6) 必要に応じて教材の冒頭に登場人物の顔イラストを表示し、教材の内容場面を捉えやすくする配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年ごと設定された「重点主題」を、発達段階に応じて6年間系統立てて指導できるよう多様な教材が配列されている。 (2) 各学年とも40本の教材が掲載されており、指導計画に応じて選択ができるなど、学校や地域、児童の実態に合わせた多様な指導に対応できる配慮がされている。 (3) いじめなど現代的な課題については、全学年ともテーマごと教材が続けて配置され、児童がそのテーマについて深く考えることができるよう工夫がされている。 (4) さし絵や写真は、教材の内容理解を助けるものとして、大きさが適切に配置され、特に二次元コードが付いた教材では、動画を視聴できるなど、学習指導に生かせる工夫がされている。 (5) 巻末に、学年の発達段階に応じた自己評価シート「学びの足あと」を設け、1年間振り返りを重ねていくことで、教師が児童の学習の様子を把握できるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年のどの教材にも冒頭の問い、考えを促す発問、終末の振り返りの発問が共通して明示され、授業のねらいや流れを意識し、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・ 各学年とも40本の教材に加え、コラムを適所に設置することで、学校や児童の実態に沿った多様な指導に対応できるように配慮されている。

種目（道徳）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	Gakken（新版 みんなの道徳）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材に主題を明示しないことで児童が主体的かつ多面的・多角的に考えられるような配慮がされている。 ・ 様々な人の生き方に触れることで、自己を見つめ、生き方についての考えを深められるような配慮がされている。 ・ 厳選された発問を配置することにより道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度を育てる配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 役割演技、身近な出来事に置き換える工夫等が盛り込まれ、発達段階に応じた学習への配慮がされている。 (2) タイトル部分に教材中の印象的な言葉（キーワード）を配置し、教材への児童の関心をかきたてるような工夫がされている。 (3) 適切な数と内容の厳選された発問が全教材に配置され、自由度をもって考えを広げられる工夫がされている。 (4) 全ての教材で、自分を取り巻く現代的な課題が色分けされたマークで示され、児童が自分の生活経験と道徳的価値を結び付けながら、主体的・対話的に学べるよう工夫されている。 (5) 見開きで始まる工夫とユニバーサルフォントやカラーの使用がなされ、教材の内容把握がしやすいよう配慮されている。 (6) 読み手と同学年の人物を主人公として複数の教材に渡り登場するようにすることで、情景把握の助けとなるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じて自分事として課題に向き合える教材と厳選された発問が児童自身でよりよい生き方を広く深く学べるよう配列されている。 (2) 全国各地の地域教材、現代的な課題を効果的に配し、主体的に自分の思いをもち他者と対話的に考えを深められるよう児童の実態に応じた柔軟な指導計画作成への配慮がなされている。 (3) 「いのち」を最重要テーマに、内容項目の異なる教材を組み合わせたユニットで多面的・多角的に考えを深める工夫がなされ、年間を通じて「いじめ防止」に関連する教材が配置されている。 (4) 見開きで写真や教材を提示することで、児童が内容を正確に把握し、主体的に学んでいけるような工夫がされている。 (5) 数か所のメモ欄、巻頭巻末の「自分の記録」や「学びの記録」で自分の考えや成長の可視化が可能となり、保護者や友達と思考の足跡を共有できる工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材に主題が明示されないこと、自己を見つめ考えを広げる厳選された発問により、多様な価値観を引き出し、児童が主体的かつ多面的・多角的に考えられるような配慮がされている。 ・ 特設ページ等で主体的・対話的な学びや考えを深められる授業の提案が示されており、授業者が自由な発想を生かして学習を展開できるよう工夫されている。